

令和5年度 地域スポーツクラブ支援事業
事業報告書



令和6年3月

公益財団法人東京都体育協会

目次

はじめに	1
I 中間支援組織事業	2
i 指導者派遣事業	2
ii 講習会・研修会・連絡協議会	3
iii 地域スポーツクラブ交流会	4
iv 地域スポーツクラブPR及びグッズの製作	7
v 東京都地域スポーツクラブサポートネット	7
vi 特別アドバイザー相談	7
vii 地域スポーツクラブの巡回及び相談	8
II 地域スポーツクラブ都民参加事業及びシニアスポーツ振興事業	9
III 登録・認証制度の運用	12
i 登録クラブ	12
ii 登録申請手続説明会	13
iii 総合型地域スポーツクラブ東京都協議会	13
IV 令和5年度東京都における地域スポーツクラブ活動状況報告	14

はじめに

地域スポーツクラブ（以下「クラブ」といいます。）は、子供から高齢者、障害者を含め、誰もがスポーツに親しむことができる場としての役割とともに、地域の方々の交流が図れる場として、地域コミュニティの形成やクラブを中心とした新しい公共を創出する役割が期待されてきました。

国は、令和4年4月1日から新たに、クラブが地方自治体等とパートナーシップを構築し、公益的な事業体としての役割を果たしていくため、活動実態や運営実態、ガバナンス等についての要件を基準とした、「登録・認証制度」の運用を開始しました。

さらに、子供達のスポーツ環境をより充実させ、持続可能なものにしていくため、運動部活動を学校単位から地域単位の取組にしていくことを含めた「運動部活動改革」を推進しており、その受け皿の1つとして、クラブに対する期待はますます高まっています。

東京都では、昨年度まで公益財団法人東京都スポーツ文化事業団内に設置された「東京都広域スポーツセンター」が関係団体等と連携してクラブの設立・育成における支援を行っていましたが、令和5年度からは、当協会においてこれらの支援を実施してまいりました。現在都内には、57区市町村に160クラブ（令和6年3月末時点）が設立され、各地域において多様なスポーツ活動が行われています。

本年度は、コロナ禍から明けて各クラブの活動が活気を取り戻す中、引き続き感染症対策をとりながら、講習会、研修会、交流会や、都民参加事業等への支援を実施するとともに、職員等がクラブ等を訪問し設立支援や運営充実のための助言・情報提供を行いました。

本報告書には、令和5年度の地域スポーツクラブ支援事業の取組をまとめておりますので、各クラブの一層の発展と、「スポーツフィールド東京」の実現につながる活動にご活用いただければ幸いです。

令和6年3月

公益財団法人東京都体育協会

I 中間支援組織事業

i 指導者派遣事業

1 目的

本事業は、地域スポーツクラブの設立や運営、活動内容の充実を支援することを目的として実施しました。地域スポーツクラブの設立を考えている団体（区市町村を含みます。）や設立後の地域スポーツクラブから申請を受け、それぞれの申請内容に適した指導者を派遣します。

対面で指導が受けられる指導者派遣事業に加え、令和元年度からはICTを活用した指導者派遣事業も始動しました。

◆ ICTを活用した指導者派遣事業について

タブレットやスマートフォンを活用し、クラブ会員や指導者が競技の専門コーチ（知識や経験が豊富な元プロスポーツ選手やアスリート等）から動画添削によるフォーム指導や練習メニューの提案等を受けることができます。新型コロナウイルス感染症が蔓延する中で、対面指導が難しい状況においても効率的にスキルの習得ができ、スポーツ活動に対する意識や競技力の向上、クラブに所属する指導員の指導サポート等を行うことができます。

指導を受けられる種目：テニス・ソフトテニス・水泳・バドミントン・バスケットボール
 （令和5年度） 卓球・野球・陸上競技・バレーボール

・ ICTを活用した指導者派遣事業のイメージ

クラブの指導者を通じて専門のコーチがクラブ会員への指導を行います。



2 実績報告

指導者派遣事業は以下の6事業に計9人の指導者を派遣しました。なお、1事業は雨天のため中止となりました。

No.	実施日	事業名	内容	対象	派遣指導者数	参加者数
		申請団体名				
1	10/3	危機管理講習会	講習会	会員、スポーツ指導者、PTA等	1人	50人
		NPO法人志村スポーツクラブ・プリムラ				
2	10/9	少年サッカー教室	サッカー ※雨天のため中止	小学生	-	-
		SSKクラブ				
3	10/29 11/12	プロに学ぶバドミントン	バドミントン	小学生～大人	2人	34人
		港区総合型地域スポーツ・文化クラブ高松				
4	1/13 1/14	クラシックバレエレッスン	クラシックバレエ	保育園児～中学生	1人	16人
		神津島スポーツクラブ				
5	1/13	サッカー教室	サッカー	小学生	2人	23人
		SSKクラブ				
6	2/11	少年少女サッカー教室	サッカー	小学生、保護者	3人	30人
		NPO法人スポーツクラブホワイエ上石神井				
合計					9人	153人

ii 講習会・研修会・連絡協議会

地域スポーツクラブの活動を支えるスタッフの養成や研修の機会の提供や、安定したクラブ運営への支援、クラブ間の交流やクラブ活動への理解促進を図る目的で年間7本（5日）の講習会等を実施し、延べ184人の参加がありました。

事業名	実施日	参加者数	事業内容
スポーツクラブマネジャー養成講習会	9/23 9/24	30人	地域スポーツクラブの経営管理者として総合的なマネジメントを担うための必要な知識のうち、特に基礎的な知識を習得するための講義や演習を実施
第1回クラブ運営スタッフ等研修会	7/19	47人 (現地24、 オンライン23)	テーマ 「消費税とインボイスの基礎」
第2回クラブ運営スタッフ等研修会	8/2	29人 (現地10、 オンライン19)	テーマ 「学校部活動の地域連携・地域移行について」
第3回クラブ運営スタッフ等研修会	10/3	38人 (現地14、 オンライン24)	テーマ 「令和6年度登録・認証制度更新申請について」
第4回クラブ運営スタッフ等研修会	2/16	40人 (現地21、 オンライン19)	テーマ 「地域スポーツクラブに求められるコンプライアンス」
第1回地域スポーツクラブ連絡協議会	7/19	47人 (現地24、 オンライン23)	地域スポーツクラブ支援事業に関する情報提供及び都内地域スポーツクラブ関係者間の情報交換会
第2回地域スポーツクラブ連絡協議会	2/16	40人 (現地21、 オンライン19)	
合計		184人	※連絡協議会を除く（研修会同日開催のため）

「クラブ運営スタッフ等研修会」において、第1回「消費税とインボイスの基礎」では、令和5年10月から開始されたインボイス制度について取り上げ、制度の基礎やクラブがどのような影響を受ける可能性があるのか、どのような準備をすればよいのか等、税理士の高橋昌也氏にご講義いただきました。

また、第2回「学校部活動の地域連携・地域移行」では、東京都教育庁の方に事例紹介をしていただくとともにディスカッションを行い、クラブの現状や考えについて活発な意見交換が行われ、理解を深めるよい機会となりました。

第3回「令和6年度登録・認証制度の更新申請について」では、登録・認証制度の背景と期待について、日本体育大学助教の柴田紘希氏にご講義いただくとともに、担当から申請方法の変更について丁寧に説明を行いました。

第4回「地域スポーツクラブに求められるコンプライアンス」では、コンプライアンスの基礎とクラブが継続するためには何が求められるか等について、東洋大学講師の谷塚哲氏にご講義いただきました。

iii 地域スポーツクラブ交流会

1 目的

本事業は、地域スポーツクラブが日頃実践している活動の発表や実施種目の体験コーナーを設け、地域スポーツクラブ間の交流及び一般都民へのクラブ活動の理解促進を図ることを目的としています。

2 企画・運営

地域スポーツクラブ交流会の企画・運営は、都内地域スポーツクラブ会員より構成された「企画運営委員」により行われます。今年度は下記 10 クラブの 10 名にご参加いただきました。

～令和 5 年度企画運営委員参加クラブ～

中央区：一般社団法人中央区地域スポーツクラブ大江戸月島

港区：港区総合型地域スポーツ・文化クラブ六本木（スポーカル六本木）

港区総合型地域スポーツ・文化クラブ高松（スポーカル高松）

豊島区：NPO法人地域総合型椎の美スポーツクラブ

練馬区：NPO法人SSC谷原アルファ

NPO法人総合型地域スポーツクラブ平和台

葛飾区：一般社団法人オール水元スポーツクラブ

江戸川区：一般社団法人MUCHU

町田市：特定非営利活動法人スポーツ塾 J. V I C

羽村市：一般社団法人はむら総合型スポーツクラブはむすぼ

※東京都内の地域スポーツクラブ一覧順

3 実施内容

今年度は、下記のとおり、交流会を開催しました。

だれでも参加できる「ゆるスポーツ」から現役プロ選手によるフットサル教室やダーツ指導等、多彩なスポーツの体験を実施しました。参加者の皆さんはアドバイスをもらいつつ、楽しみながら体験されていました。

また、今年度は、地域スポーツクラブの活動を知ってもらい、学校部活動の地域での受け入れにつなげていくため、各クラブの取組内容のパネル紹介、柴田紘希氏（日本体育大学スポーツマネジメント学部助教）の講演、部活動に取り入れやすい種目紹介や体験等を行いました。

<スポーツ交流会（第 19 回地域スポーツクラブ交流会）>

開催日時：令和 6 年 1 月 21 日（日曜日）10 時から 15 時まで

開催場所：中央区立総合スポーツセンター 主競技場

後援：中央区、中央区教育委員会

参加対象：都内地域スポーツクラブ会員・関係者、一般都民

参加人数：453 人

～ステージ発表参加クラブ：11組（10クラブ）～

- ・一般社団法人渋谷ほんまちクラブ/フラダンス
- ・一般社団法人中央区地域スポーツクラブ大江戸月島/チアダンス、空手
- ・NPO法人志村スポーツクラブ・プリムラ/HIPHOP
- ・三鷹市ベッセルスポーツクラブ/フラダンス
- ・一般社団法人オール水元スポーツクラブ/チアダンス（※インフルエンザ流行のため参加取りやめ）
- ・一般社団法人はむら総合型スポーツクラブはむすぽ/ジャズダンス
- ・西東京市総合型地域スポーツクラブ・にしはらスポーツクラブ/フラダンス
- ・新宿チャレンジスポーツ文化クラブ/ダンス
- ・ようがコミュニティクラブ/チアリーディング
- ・NPO法人総合型地域スポーツクラブ平和台/チアダンス

※発表順

～ご協力いただいたみなさま～

- ・フットサル：しながわシティフットボールクラブ
- ・ホッケー：パキラホッケースクール
- ・ダーツ：PERFECT（プロソフトダーツ団体）
- ・スラックレール：ジリリタ株式会社
- ・ダブルダッチ：中央区立日本橋中学校ダブルダッチ部
- ・羽村市公式キャラクター：はむりん
- ・NPO法人地域総合型椎の美スポーツクラブ：くるみちゃん

チラシ（表・裏）

東京都 地域スポーツクラブ スポーツ交流会
2024年1月21日（日）
10:00～15:00
中央区立総合スポーツセンター 主競技場

入場無料

どなたでも参加できます！
室内履きをご用意ください

楽しいイベント盛りだくさん！！
ご来場お待ちしております！！

☆お楽しみ☆
スタンプラリーでプレゼントあり！！

スポーツ体験
ポッチャ
ダブルダッチ
フットサル
リーグ：SHINAGAWA CITY

部活動・クラブ紹介
講演「学校部活動と地域スポーツクラブについて」
部活動種目紹介・体験
ポッチャ/ダブルダッチ
ボクシング/タグラスリング
意見交換・個別相談会
区内地域スポーツクラブ
パネル展示

ステージ発表
ゆる種目体験
羽村市公式キャラクター『はむりん』登場

【主催】公益財団法人東京都体育協会
【企画運営】東京都地域スポーツクラブ交流会企画運営委員会
【後援】中央区・中央区教育委員会

地域スポーツクラブスポーツ交流会 2024年1月21日（日）10:00～15:00

当日プログラム/ステージ発表

10:00～10:10 開会式
11:00～11:50 ステージ発表①
11:00～11:10 フラダンス（一社）渋谷ほんまちクラブ
11:10～11:20 チアダンス（一社）中央区地域スポーツクラブ大江戸月島
11:20～11:30 空手（一社）中央区地域スポーツクラブ大江戸月島
11:30～11:40 HIPHOP/NPO法人志村スポーツクラブ・プリムラ
11:40～11:50 フラダンス/三鷹市ベッセルスポーツクラブ
14:00～15:00 ステージ発表②
14:00～14:10 チアダンス（一社）オール水元スポーツクラブ
14:10～14:20 ジャズダンス（一社）はむら総合型スポーツクラブはむすぽ
14:20～14:30 フラダンス/西東京市総合型地域スポーツクラブ・にしはらスポーツクラブ
14:30～14:40 ダンス/新宿チャレンジスポーツ文化クラブ
14:40～14:50 チアリーディング/ようがコミュニティクラブ
14:50～15:00 チアダンス/NPO法人総合型地域スポーツクラブ平和台
15:00～15:30 閉会式
※みんなで語ろう！
※時間は目安です、内容は変更になる場合があります。

会場
中央区立総合スポーツセンター 主競技場
中央区日本橋浜町2丁目59番1号区立浜町公園内
（アクセス）都営地下鉄新橋線浜町駅 A2番出口 徒歩2分
東京メトロ日比谷線人形町駅 A2番出口 徒歩8分

ゆる種目体験 ※10:00～15:00

モルック 水の雫を投げ、壁が動くボールを打つ。簡単で楽しめるスポーツです。
スラックレール スラックレールは高さがあり、滑りやすいため、滑車で楽しく遊べる体験ができます。体験できる高さがあります。
くつしたまひれ ※9:00開場 くつしたまひれ！？
ダーツ ダーツの投げ方は実はとっても簡単！ちょっとのコツで、驚くほど正確に打つことができます！
紙コップ玉入れ 紙コップに玉入れです！
ディスゲッター ドットボード、ストラクチャー
ラダーゲッター ヒモでつながっている2個のボールをハンゴに引っかけて取ります。

スポーツ体験 ※13:30～

フットサル フットサルは限られた室内で行う5人制のミニサッカーです。今回は、リーグSHINAGAWA CITYの選手・スタッフによる対戦も開催いたします。
ポッチャ ※10:30～ コーロ（バネ射撃）のポッチャは、重量感があって、とても楽しいです。思いっきりターゲットを押しつぶすのが、このゲームの醍醐味です。白いジャックボールに、赤いボールをそれぞれ投げ、ボールを投げたり、蹴ったりして、思い通りにボールを動かすのが、このゲームの醍醐味です。
ダブルダッチ ※12:00～ ダブルダッチ（Double Dutch）は、2本の縄を同時に回し、その間にボールを投げたり、蹴ったりして、思い通りにボールを動かすのが、このゲームの醍醐味です。

部活動種目紹介・体験 ※午後の部 10:30～12:00 午後の部 13:00～15:00

ボクシング（打打ち） ボクシングのグローブを付けて、レスリングの練習から相手のパンチを返します。
タグラスリング 手首にひもを付けて、レスリングの練習から相手のパンチを返します。
ダブルダッチ 2つのチームで、先のチームがたがった状態でボールを回し、相手チームが邪魔しているゴールを入れるゲームです。
ホッケー 2つのチームで、先のチームがたがった状態でボールを回し、相手チームが邪魔しているゴールを入れるゲームです。

☆お楽しみ☆
スタンプラリー

※地域スポーツクラブサポートネット
あなたの地域のスポーツクラブを探してみよう！

※地域スポーツクラブ交流会の最新情報はこちら

公益財団法人 東京都体育協会
03-6804-1472



ディスクゲッター



モルック



ダーツ



フットサル



柴田紘希氏による講演



ダブルダッチ



ホッケー



空手/大江戸月島



チアダンス/SSC 平和台



最後はみんなでダンス！

vii 地域スポーツクラブの巡回及び相談

1 クラブ巡回・相談対応

(1) 地域スポーツクラブ設立準備団体等の訪問・相談対応

当協会の支援担当による地域スポーツクラブの普及や設立・育成支援を目的とした訪問・相談対応の実績は、以下のとおりです。クラブの設立準備団体が組織されている地区やクラブ設立を希望している地区においては定例会議等に継続的に参加するなど、必要に応じて情報提供や助言を行ってまいりました。

○ 地域スポーツクラブ設立準備団体の訪問	・・・・・・・・	4 団体 (延 11 回)
○ その他の訪問 (区市町村行政など)	・・・・・・・・	1 地区 (延 1 回)

(2) 都内地域スポーツクラブの訪問

支援担当による都内地域スポーツクラブへの訪問実績は以下のとおりです。主に、当協会の支援事業 (指導者派遣事業など) や記念イベント等の視察、相談対応等を行いました。訪問先では活動の様子を見学するだけでなく、クラブ関係者と積極的に意見・情報交換を行うことで、運営等に関する現状や課題の把握に努めてまいりました。

○ 都内地域スポーツクラブの訪問	・・・・・・・・	13 クラブ (延 17 回)
------------------	----------	-----------------

2 相談の主な内容

地域スポーツクラブの設立・運営等に関する相談対応の主な内容は以下のとおりです。今年度は東京都広域スポーツセンターから引き継いだ既設置地区において 2 つのクラブが新設されたほか、設立希望団体やその団体が所在する地区行政からの電話相談が多くありました。訪問による相談対応に加え、電話・メール等での相談対応を細やかに実施し、継続的な支援に努めました。設立準備団体に対しては、設立のための手順やクラブの組織化、補助金の利用方法、登録・認証制度に関する説明等、様々な相談対応を行いました。クラブの運営については、クラブのミッションやビジョン、活動施設の確保、運営スタッフの確保などに関する相談等がありました。

○相談方法 (電話・メール・窓口・訪問・オンライン)
○主な相談内容
・クラブの設立等について (クラブとは、クラブ設立方法、メリット、支援体制)
・クラブの運営について (運営改善相談、登録・認証制度に関して、指導者の紹介及び派遣依頼、視察先の紹介)
・クラブの支援について (当協会の支援事業について、公認資格取得について)

Ⅱ 地域スポーツクラブ都民参加事業及びシニアスポーツ振興事業

都民参加事業は、都民のスポーツ参加を促進し、地域におけるスポーツ参加機運の醸成を図ることを目的としています。

シニアスポーツ振興事業は、高齢者のスポーツ実施率の向上を図り、健康の維持・増進に寄与することを目的としています。

今年度は以下のとおり、都内地域スポーツクラブが実施した事業を支援しました。

1 都民参加事業

	地域スポーツクラブ名	事業名	実施日	参加者数 (人)	非クラブ 会員 (人)
1	一般社団法人中央区地域スポーツクラブ大江戸月島	親子キッズテニス	2/23	32	26
2	港区総合型地域スポーツ・文化クラブ六本木 (スポーカル六本木)	おとなのスポーツ。	5/7～2/25	77	31
		ボールであそぼ!	4/11～2/26	76	38
3	港区総合型地域スポーツ・文化クラブ高松 (スポーカル高松)	サッカー&フットサル	7/19～11/23	16	15
4	磯南スポーツクラブ	バドミントン教室	6/2～10/27	36	30
5	NPO法人ななすぼ	バグジー体験会/モルック体験会	7/17～11/3	36	24
6	NPO法人スマイルかまた	みんなでヨガを楽しもう。	5/22～2/29	56	55
		都民向けスポーツ体験 出前事業 パート2	6/21～2/21	345	345
7	NPO法人ベアーズ	キッズ運動能力向上プロジェクト	4/1～2/24	15	15
8	NPO法人ド素人スポーツ	ド素人から始める!春のスポーツフェスタ	3/9	92	37
9	東深沢スポーツ・文化クラブ	東深沢スポーツ・文化フェスティバル	11/5	1,030	700
10	ようがコミュニティークラブ	20周年記念事業 第20回ようがコミュニティーフェスティバル ～新しい風を吹かせよう!ホップ!ステップ!ジャンプ!～	11/3	800	450
11	NPO法人地域総合型椎の美スポーツクラブ	親子ふれあい防災スポーツフェスタ	10/8	27	27
		ストレス発散!ママエクササイズ	10/13～12/8	19	19
12	NPO法人れっど★しゃっふる	やってみよう!柔道体験会	11/12	16	13
13	NPO法人コミュニティネットSSC大泉	トランポリン教室(タンプリングを身に着けよう)& 水泳教室(平泳ぎを覚えよう)	7/24～2/19	64	42
14	NPO法人SSC谷原アルファ	スポーツの日記念行事・スポーツ交流会	10/9～1/13	278	173
15	NPO法人スポーツコミュニティー桜	さくらスポーツフェスタ 冬	1/28	221	221
		おもしろニューススポーツ体験会	8/2～2/3	440	439
16	NPO法人総合型地域スポーツクラブ平和台	スポーツの日記念事業「秋のチャレスボまつり」	10/9	614	420
		6人制ジュニアバレーボール教室	7/27～8/31	21	21
17	NPO法人スポーツクラブホワイエ上石神井	日曜定例スポーツ事業	4/2～2/25	606	470
		ホワイエ親子ひろば	4/4～2/20	87	87
18	KITクラブ21	みんなでバドミントン	5/17～12/13	36	15
		「パラスポーツ体験教室」みんなでポッチャ	7/15	38	21
19	SSKクラブ	文部科学省 新体力測定	2/11	53	41
		ビーチボールバレー大会	6/25	93	65
20	NPO法人こやのエンジョイくらぶ	イベント「スポーツフェスタ2023」	10/15	416	104
21	一般社団法人オール水元スポーツクラブ	ふれあいフェスタ2023	10/29	301	270

	地域スポーツクラブ名	事業名	実施日	参加者数 (人)	非クラブ 会員 (人)
22	NPO法人はちきたSC	親子サッカー教室	9/2～2/24	80	60
23	第三地区スポーツクラブ運営委員会	第三地区スポーツクラブ大運動会	10/15	1,085	1,000
24	三鷹市ベッセルススポーツクラブ	第16回ベッセルフレスト	6/25	233	149
25	一般社団法人スカイリミットスポーツ三鷹	スカイリミットスポーツ三鷹体験会 in SUBARU総合スポーツセンター	5/14～2/4	260	260
26	府中市総合型f-エフスポーツクラブ	グラウンドゴルフ交流大会	11/29	194	100
27	NPO法人調和SHC倶楽部	インディアカの体験会と交流試合	11/12～12/10	45	40
28	一般社団法人こみゅと小平	スポーツ・レクリエーション及び障がい者スポーツ教室開催事業	1/28	8	2
29	一般社団法人平山台文化スポーツクラブ	ノルディックウォーキング体験講習会	11/5	9	5
		ボッチャ体験会	11/26	20	12
30	こくぶんじ地域クラブ	パパ・ママと遊ぼう プレイ&スポーツ	8/12～8/26	17	17
		ベビーマッサージとパパママセルフケアを学ぼう	8/12～8/26	12	12
		モルック交流大会	9/23～11/23	42	37
31	一般社団法人総合型地域スポーツクラブ清瀬キラリ	ウォーキングサッカー体験会	4/9～2/4	289	174
32	よってかっしえクラブ	第5回むさむらクラブオープン	6/10	54	43
33	一般社団法人はむら総合型スポーツクラブはむすぼ	「楽しいトランポリン」	8/5～11/12	13	13
34	一般社団法人あきる野総合スポーツクラブ「Asport(アスポルト)」	ボッチャ普及事業	7/28～2/23	158	127
			合計 ※参加者数は実数	8,460	6,265

2 シニアスポーツ振興事業

	地域スポーツクラブ名	事業名	実施日	参加者数 (人)	内60歳 以上 (人)
1	一般社団法人中央区地域スポーツクラブ大江戸月島	シニアスポーツ教室 ※クラブの事情により中止	中止	-	-
2	港区総合型地域スポーツ・文化クラブ六本木 (スポーカル六本木)	ヘルシーアップスポーツ教室	4/9～2/25	40	30
3	港区総合型地域スポーツ・文化クラブ高松 (スポーカル高松)	ソフトバレーボール大会	11/5	39	31
4	磯南スポーツクラブ	シニアバレーボール大会	4/22～10/29	238	162
		れきスポウォーク	5/28～1/28	24	24
5	NPO法人ななすぼ	輪投げ体験会	7/9～9/17	29	29
6	NPO法人スマイルかまた	ハイキングを楽しもう!!パート2	9/10～2/12	38	32
7	東深沢スポーツ・文化クラブ	「ラジオ体操講習会」シニアのための講習と実技指導	9/21	37	32
8	鳥山スポーツクラブユニオン	楽しくスポーツ!明るいシニアの健康スポーツ教室	9/3～10/1	7	7
9	しろやま倶楽部	ポッチャ体験会	12/10～1/8	25	22
10	一般社団法人ニチジョクラブ	脳活!筋活!さわやか健康講座	6/4～2/4	41	39
11	NPO法人地域総合型椎の美スポーツクラブ	生き生きシニアのソフトバレーボール教室	4/11～2/28	20	20
12	NPO法人れつど★しゃつふる	心もからだも整いました!!シニアの為のヨガ&瞑想体験	11/18～25	14	13
13	NPO法人コミュニティネットSSC大泉	チャレンジシニアスポーツ教室 (太極拳・フラダンス)	10/3～2/22	19	13
14	NPO法人SSC谷原アルファ	シニア元気アップ教室	4/4～2/27	11	10
15	NPO法人スポーツコミュニティー桜	スポーツ吹矢	4/7～2/16	14	13
		シニアこそ貯筋&脳トレ	4/7～2/16	14	14
		ノルディックウォーキング・ポールウォーキング	4/8～2/10	40	36
16	NPO法人総合型地域スポーツクラブ平和台	スポーツウエルネス吹き矢教室	4/8～2/24	24	24
17	NPO法人スポーツクラブホワイエ上石神井	はつらつシニアスポーツ交流事業	4/8～2/27	200	184
18	KITクラブ21	みんなで健康体操	5/13～11/25	22	22
19	SSKクラブ	ウォーキング教室	9/16～11/26	21	21
20	NPO法人こやのエンジョイくらぶ	イベント「グラウンド・ゴルフ交流大会」	12/7	44	44
21	一般社団法人オール水元スポーツクラブ	ふれあいグラウンド・ゴルフ大会	10/18	145	145
22	NPO法人はちきたSC	太極拳教室 (送迎つき)	9/4～2/23	8	8
23	第三地区スポーツクラブ運営委員会	第三地区グラウンドゴルフ大会	11/3	91	91
24	三鷹市ベッセルスポーツクラブ	室内グラウンド・ゴルフ交流会	11/18	59	55
25	三鷹ウエストスポーツクラブ	ソフトテニスシニア講習会	6/18～10/15	28	21
26	一般社団法人スカイリミットスポーツ三鷹	シニア向け健康体操	12/17	25	25
27	府中市総合型 f-エフ-スポーツクラブ	シニア卓球交流大会	2/25	68	68
28	一般社団法人平山台文化スポーツクラブ	健康寿命を延ばそう!シニアのための運動法講習会	10/3	31	31
29	こくぶんじ地域クラブ	お達者クラブ 楽しくスポーツ	10/22～11/19	11	11
		お達者ウォーク 地域を知ろう	9/24～11/26	26	26
		ポッチャ交流会	8/11～11/11	79	50
30	一般社団法人はむら総合型スポーツクラブはむすぼ	静と動の組み合わせチャレンジスポーツ体験	10/12～11/9	12	12
			合計 ※参加者数は実数	1,544	1,365

Ⅲ 登録・認証制度の運用

i 登録クラブ

前年度に引き続き令和5年度も予備登録の申請を受け付けました。令和5年度の申請では4つのクラブが新たに登録認定されました。令和5年11月1日時点での登録クラブ一覧は以下のとおりです。

令和5年度登録・認証制度 予備登録クラブ一覧（令和5年11月1日時点）

No.	区市町村	クラブ名
1	中央区	一般社団法人中央区地域スポーツクラブ大江戸月島
2	港区	港区総合型地域スポーツ・文化クラブ六本木
3	新宿区	新宿チャレンジスポーツ文化クラブ
4	墨田区	NPO法人スポーツドアあずま
5	江東区	東陽・木場地域スポーツクラブ
6		海の森総合型地域スポーツクラブ
7	目黒区	NPO法人スポルテ目黒
8	大田区	NPO法人地域総合スポーツ倶楽部・ピボットフット
9		一般社団法人田園調布グリーンコミュニティ
10		NPO法人大田ウェルネスクラブ
11		一般社団法人Sports Design Lab
12	世田谷区	東深沢スポーツ・文化クラブ
13		烏山スポーツクラブユニオン
14	渋谷区	一般社団法人渋谷ほんまちクラブ
15	杉並区	クラブ123荻窪
16	豊島区	NPO法人地域総合型椎の美スポーツクラブ
17	北区	NPO法人れっど★しゃっふる
18	荒川区	南千住スポーツクラブ
19	板橋区	NPO法人志村スポーツクラブ・プリムラ
20	練馬区	NPO法人コミュニティネットSSC大泉
21		NPO法人光が丘総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブ
22		NPO法人スポーツクラブホワイエ上石神井
23	足立区	KITクラブ21
24	葛飾区	NPO法人こやのエンジョイくらぶ
25		一般社団法人オール水元スポーツクラブ
26	江戸川区	一般社団法人清新JAC
27		一般社団法人東京23スポーツクラブ
28		一般社団法人MUCHU
29		一般社団法人城東スポーツクラブ
30	小金井市	特定非営利活動法人黄金井倶楽部
31	八王子市	八王子市陶鎔地区スポーツクラブ
32	三鷹市	三鷹市ベッセルスポーツクラブ
33	調布市	NPO法人調和SHC倶楽部
34	町田市	NPO法人スポーツ塾J.VIC
35	日野市	一般社団法人平山台文化スポーツクラブ
36	国分寺市	こくぶんじ地域クラブ
37	国立市	くにたちエール
38	東大和市	地域スポーツクラブはびねすまいる東大和
39	羽村市	一般社団法人はむら総合型スポーツクラブはむすぼ
40	あきる野市	一般社団法人あきる野総合スポーツクラブ
41	西東京市	西東京市総合型地域スポーツクラブ・にしはらスポーツクラブ
42	日の出町	日の出町総合型地域スポーツ・文化クラブ「ひのでまちくらぶ」

ii 登録申請手続説明会

総合型地域スポーツクラブの活動支援の一環として令和4年度より運用が開始された登録・認証制度について、東京都では令和5年度に追加の予備登録の申請を受け付けることとなり、都内地域スポーツクラブの申請手続を支援することを目的に、令和5年5月30日に説明会を開催しました。説明会には集会形式とオンライン形式合わせて30名の参加がありました。

説明会では、申請様式及び提出書類に関する説明や、申請及び登録後のスケジュールについての説明を行いました。

iii 総合型地域スポーツクラブ東京都協議会

総合型地域スポーツクラブ東京都協議会では、登録・認証制度について都内地域スポーツクラブの活動を支援するほか、クラブ間の情報交換や交流を図り、クラブに必要な情報を適宜共有しています。

令和5年度の主要な取組は以下のとおりです。

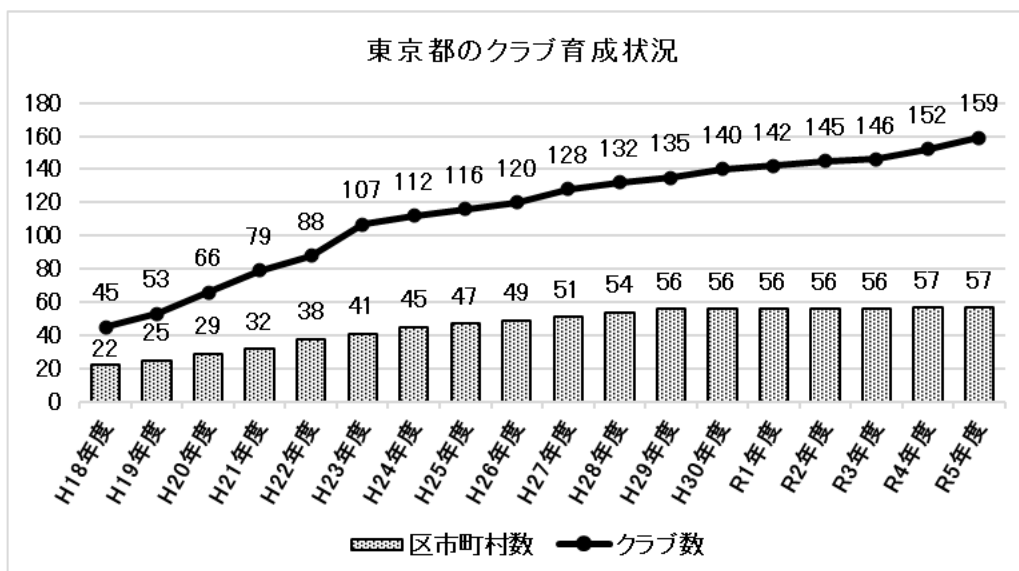
取組	実施日	参加者数	内容
第1回常任幹事意見交換会	5/16	常任幹事2名	常任幹事(クラブ代表)と東京都協議会事務局との意見交換
令和5年度予備登録申請受付	6/1～ 7/31	—	令和5年度予備登録の申請受付・問い合わせ対応
代表委員ミーティング	7/12	代表委員7名	各ブロック代表及び副代表による意見交換
区部第2ブロック研修会	7/23	21名	区部第2ブロックを中心とする登録クラブ間の意見交換及び講演会の開催
第1回登録審査委員会	8/23～ 9/13	登録審査委員6名	令和5年度予備登録の書類審査及び実地審査
区部第1ブロック研修会	9/10	6名	区部第1ブロックを中心とする登録クラブ間の意見交換
令和6年度登録申請受付	10/1～ 12/15	—	令和6年度登録の申請受付・問い合わせ対応
第2回常任幹事意見交換会	12/18	常任幹事4名	常任幹事(クラブ代表及び学識経験者)と東京都協議会事務局との意見交換
第2回登録審査委員会	1/31～ 2/14	登録審査委員6名	令和6年度登録の書類審査及び実地審査
総会	3/13	14名	東京都協議会の総会
電子メールによる情報提供	通年	—	日本スポーツ協会等からの情報提供・案内等の登録クラブへの共有

IV 令和5年度東京都における地域スポーツクラブ活動状況報告

(「令和5年度総合型地域スポーツクラブ活動状況調査(スポーツ庁)」東京都回答より)

1 調査の概要

- (1) 目的 東京都において創設された地域スポーツクラブの活動内容、課題等の現状を把握し、今後の地域スポーツクラブの育成推進のための基礎資料とする。
- (2) 対象 東京都内の創設済み地域スポーツクラブ
- (3) 実施期間 令和5年11月27日～令和5年12月25日
- (4) 実施方法 各区市町村スポーツ主管課を通じて、地域スポーツクラブに対してインターネットによるアンケート調査を実施した。
- (5) 調査票回収状況 配布数 151部 回収数 92部 回収率 60.9%
- (6) 東京都地域スポーツクラブ設立数について(令和6年3月1日現在)



(7) 調査結果の概略

項目	活動状況		備考(令和5年度)
	令和4年度	令和5年度	
会員数	276人※ ¹	⇒ 213人※ ¹	構成は小学生(31.3%)が最も多く、次いで年齢不明(23.3%)、70歳～(10.7%)となっていた。調査時の都内総会員数※ ² は、おおよそ33,654人であった。
月会費	1,000円※ ¹	⇒ 1,000円※ ¹	全体の86.7%のクラブが会費を徴収しており、クラブごとで一人あたりの会費の額に差がみられた。(一人当たりの負担 最安値:1円、最高値:9,775円)(平均値は1,627.1円)
クラブマネジャーの配置	60クラブに配置	⇒ 56クラブに配置	常勤が31.2%、非常勤が68.8%であった。
予算規模	280万円※ ¹	⇒ 338万円※ ¹	100万円未満が25.4%、1,000万円以上が29.9%と予算規模に差がみられた。
自己財源率	約77.7%	⇒ 約72.3%	「91～100%」が35.8%、「71～90%」が26.9%、「51～70%」が13.4%となっていた。(※自己財源率={会費+事業費+委託費}/全体収入)
主な活動拠点	学校体育施設	⇒ 学校体育施設	主な活動拠点は学校体育施設63.6%、公共スポーツ施設28.4%、休校・廃校施設2.3%、民間スポーツ施設1.1%となっている。

「令和5年度総合型地域スポーツクラブに関する実態調査(スポーツ庁)」東京都回答より

※¹ 会員数、月会費、予算規模に関しては数値の幅が大きいため、平均値ではなく中央値を採用した。

※² 都内総会員数は、会員数中央値に調査時クラブ数(158クラブ)を乗じた数とした。

2 調査結果 I の報告

※グラフ内の n は、各質問項目への総回答数を示す。

※回答結果（百分率）は、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までの結果を示している。

そのため、百分率の合計が 100%にならないことがある。

(1) 休日の学校運動部活動の段階的な地域移行について

休日の学校運動部活動の段階的な地域移行について、「よく知っている」と回答したクラブは 21.7%（令和 4 年度（以下 R4）は 12.9%）、「ある程度のことは知っている」クラブは 53.3%（R4 は 50.5%）であり、合わせて全体の 75.0%を占めていた。一方、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」クラブは 23.9%（R4 は 34.7%）、「ほとんど知らない」クラブは 1.1%（R4 は 2.0%）で合わせて全体の 25.0%となっていた（図 1）。

休日の学校運動部活動の段階的な地域移行の実施主体を担うことについて、「現在担っている」と回答したクラブが 7.6%（R4 は 4.0%）、「今後担う予定である」クラブが 6.5%（R4 は 3.0%）、「担いたいと考えている」クラブが 37.0%（R4 は 48.5%）であった。一方で、「担うことは考えていない」クラブは 38.0%（R4 は 34.7%）であり、「その他」が 10.9%（R4 は 9.9%）であった（図 2）。「今後担う予定である」と回答したクラブの連携開始時期については、「令和 6 年 4 月」や「未定」が挙げられた。また、「その他」の具体的な理由では、「民間企業委託となっている」、「内容や規模によって担える可能性がある」、「市の方針で必要となれば、その方向で努力していく」、「学校側の要請があれば対応したい」等が挙げられた。

クラブにおいて中学生が参加して実施可能な種目は、「バドミントン」が 33 クラブ（R4 は 31 クラブ）と最も多く、続いて「サッカー」が 26 クラブ（R4 は 32 クラブ）、「卓球」が 26 クラブ（R4 は 28 クラブ）であった（図 3）。

クラブが受け皿となる場合の課題では、「指導者の確保」が 87.0%（R4 は 85.1%）と最も高く、続いて「自治体や学校との連携体制」が 57.6%（R4 は 64.4%）、「活動する施設・設備の確保」が 56.5%（R4 は 56.4%）であった。「その他」の具体的な課題には、「大会組織との連携」や「指導者謝礼などの費用」、「保険適用」、「行政が地域スポーツクラブに対して無関心なこと」等が挙げられた（図 4）。

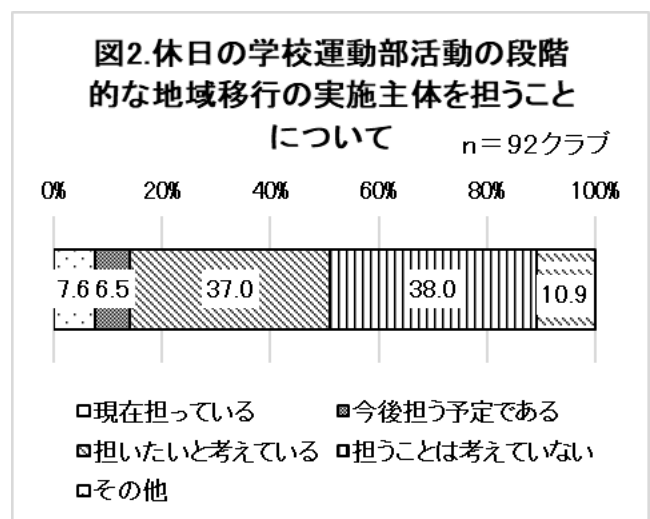
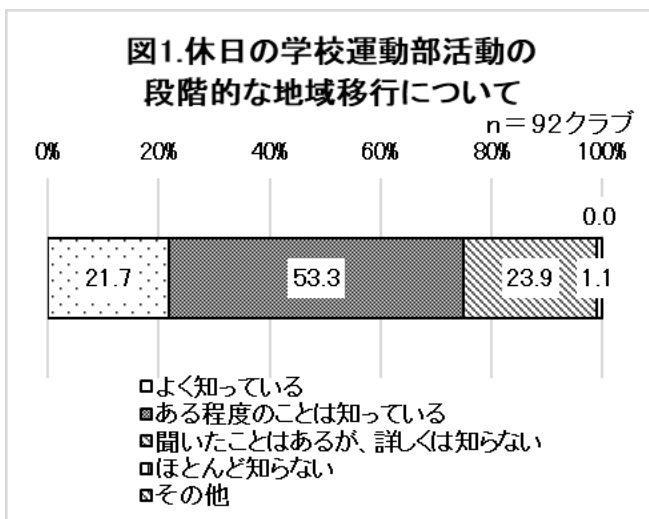


図3.中学生が参加して実施可能な種目(複数回答)

n = 82クラブ

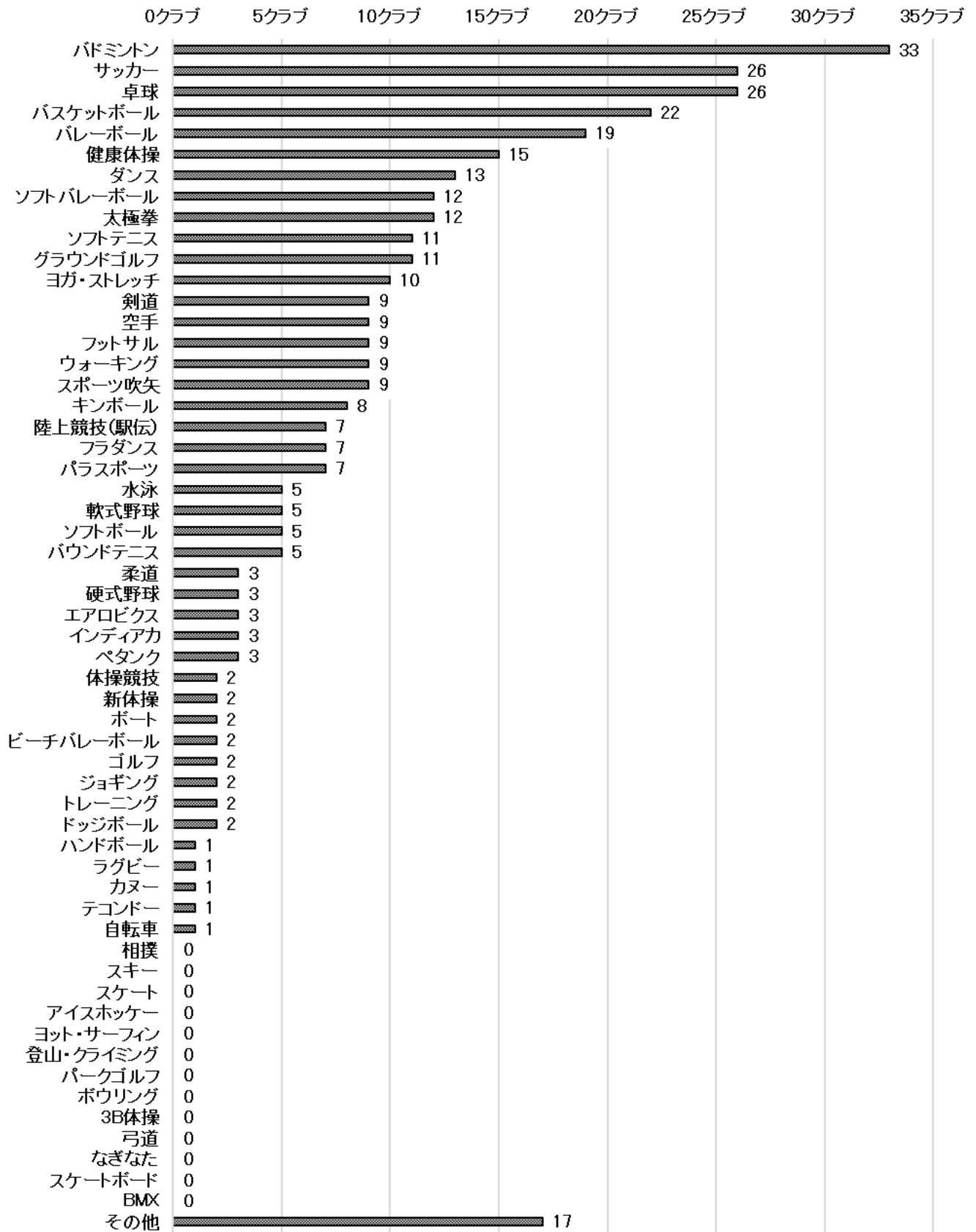
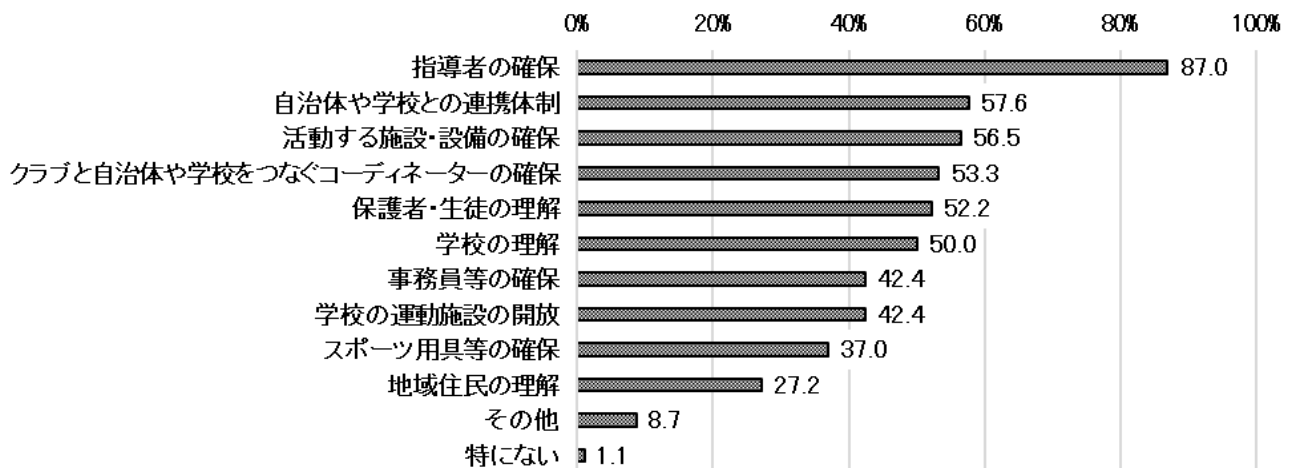


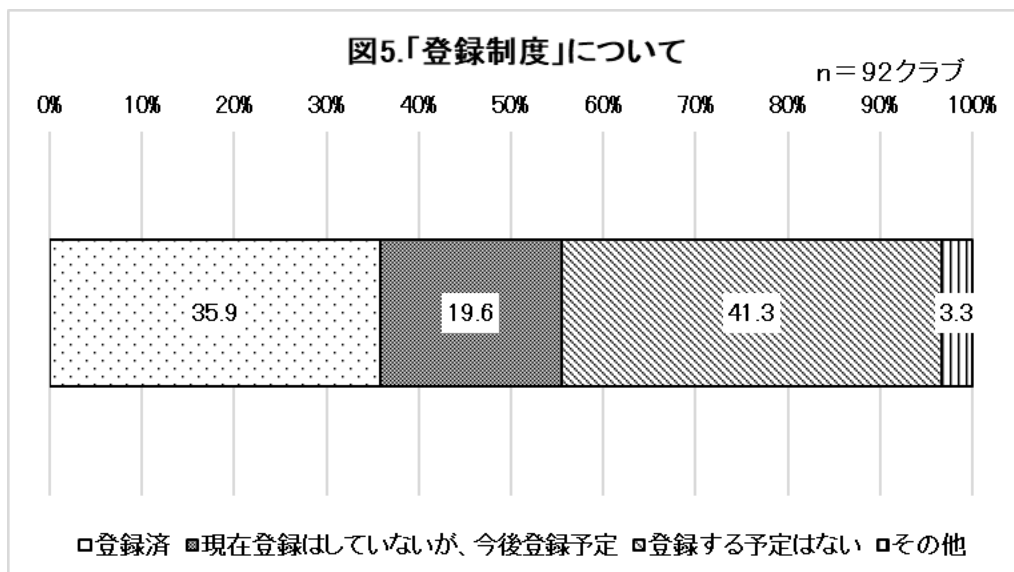
図4.総合型地域スポーツクラブが受け皿となる場合の課題(複数回答) n=92クラブ

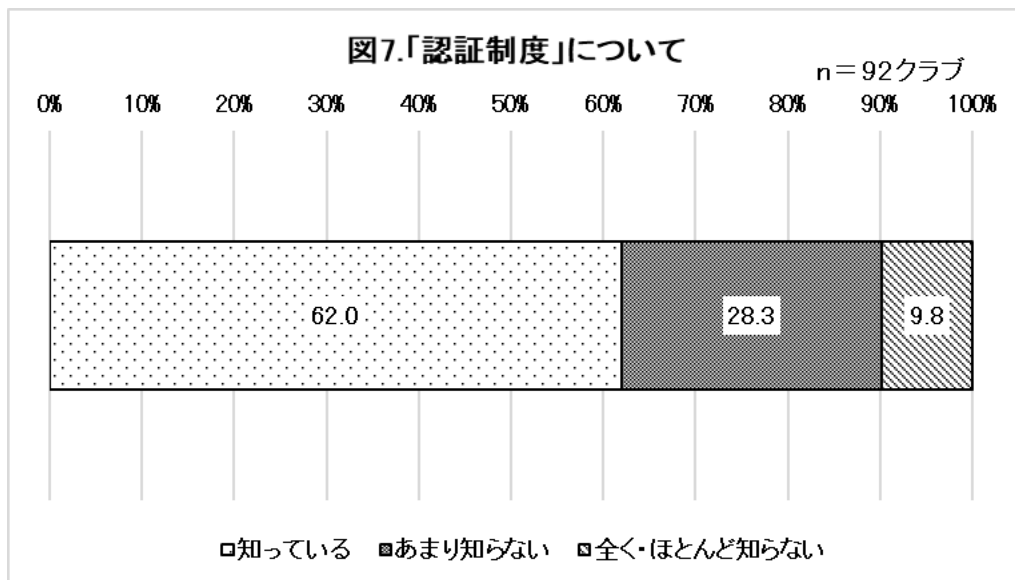
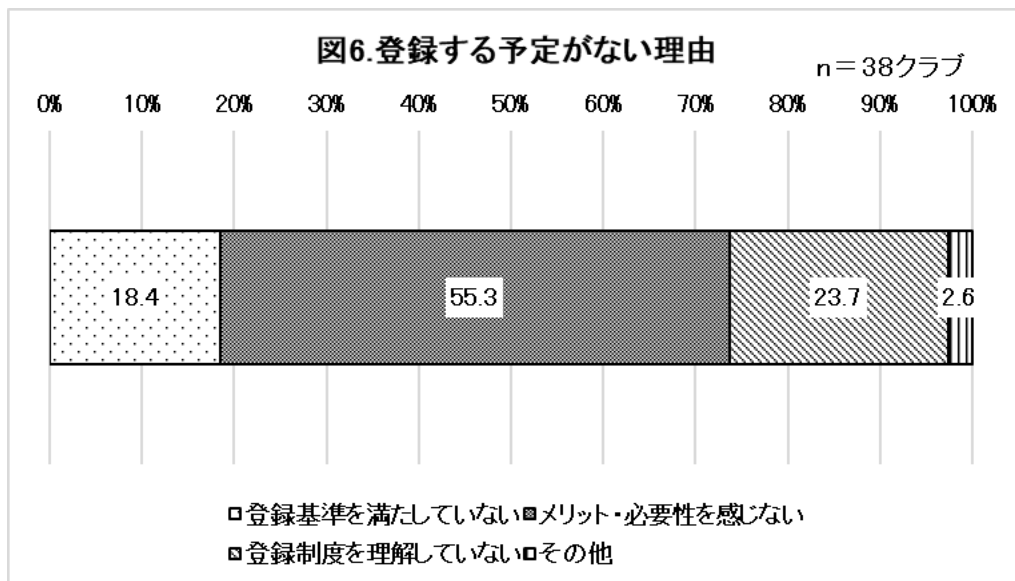


(2) 「登録・認証制度」について

総合型地域スポーツクラブ「登録制度」について、「登録済」と回答したクラブは35.9% (R4は36.6%)、「現在登録していないが、今後登録予定」のクラブは19.6% (R4は23.8%)であった。一方、「登録する予定はない」と回答したクラブは41.3% (R4は項目なし)、「その他」と回答したクラブが3.3% (R4は39.6%)であった。「その他」の具体的な内容として「昨年度は登録していたが、メリットを感じられなかったので、今年度は登録しない」や「現在登録しているが今後は行わない」等の回答が挙げられた (図5)。また、「登録する予定はない」と回答したクラブに対して、その理由を尋ねたところ、「メリット・必要性を感じてない」クラブが55.3%と最も多く、続いて「登録制度を理解していない」が23.7%、「登録基準を満たしていない」が18.4%、「その他」が2.6%となった。「その他」の具体的な内容として「課題が多い」との回答が挙げられた (図6)。

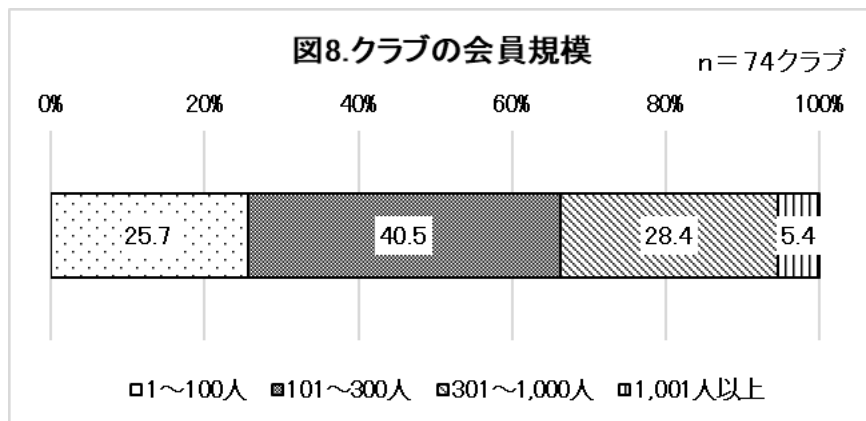
「認証制度」については、「知っている」と回答したクラブが62.0% (R4は59.4%)と最も多く、続いて「あまり知らない」クラブが28.3% (R4は34.7%)、「全く・ほとんど知らない」クラブが9.8% (R4は5.9%)となった (図7)。





3 調査結果Ⅱの報告

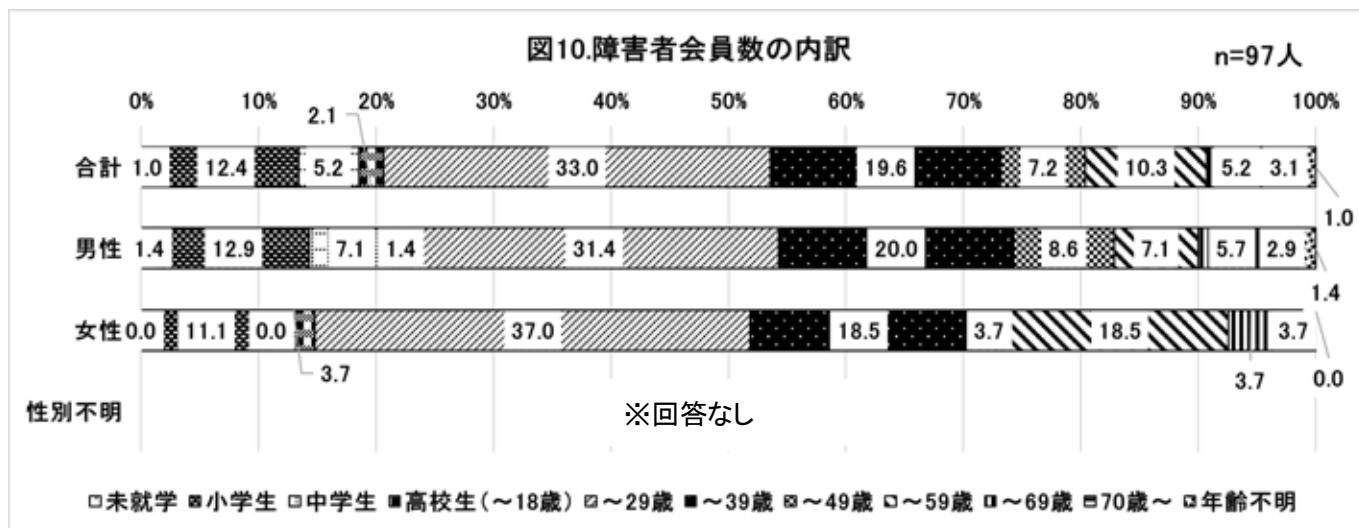
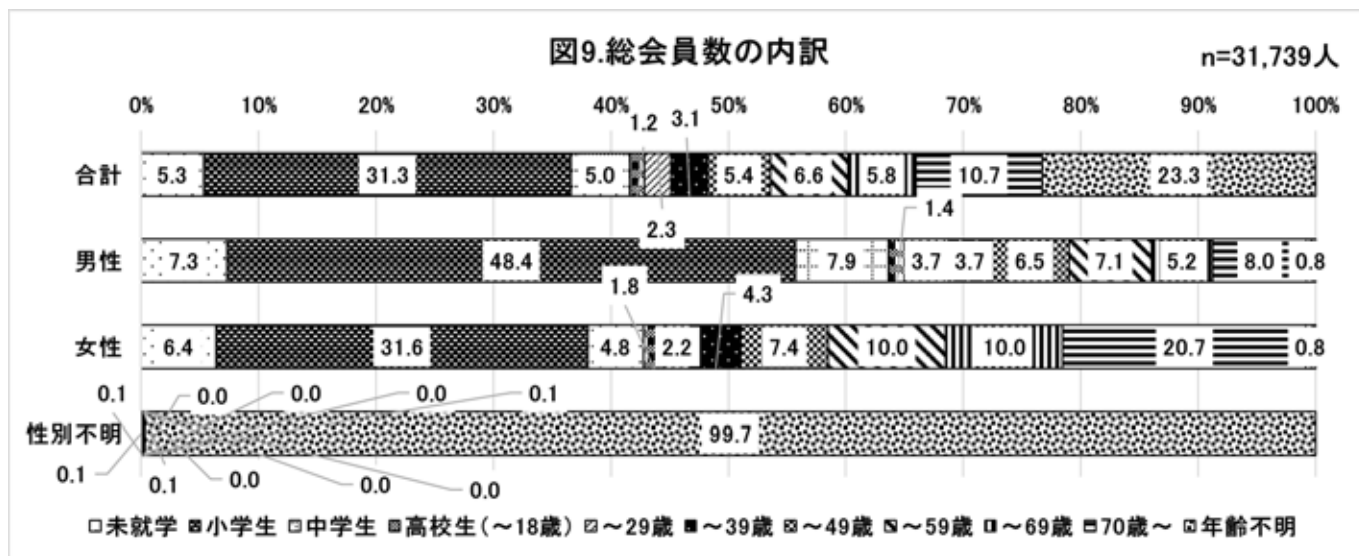
(1) クラブの会員規模



令和5年7月1日時点の会員規模別のクラブの割合は、「1~100人」規模のクラブが25.7%、「101~300人」規模のクラブが40.5%、「301~1,000人」規模のクラブが28.4%、「1,001人以上」規模のクラブが5.4%となっており、会員数は1クラブあたり約213人（中央値）となっていた（図8）。

総会員数の内訳は、「小学生」が最も割合が高く全体の31.3%（R4は32.1%）であった。続いて「年齢不明」の会員が全体の23.3%（R4は21.8%）、「70歳~」の会員が10.7%（R4は9.9%）、「50~59歳」の会員が6.6%（R4は6.0%）等となっていた（図9）。

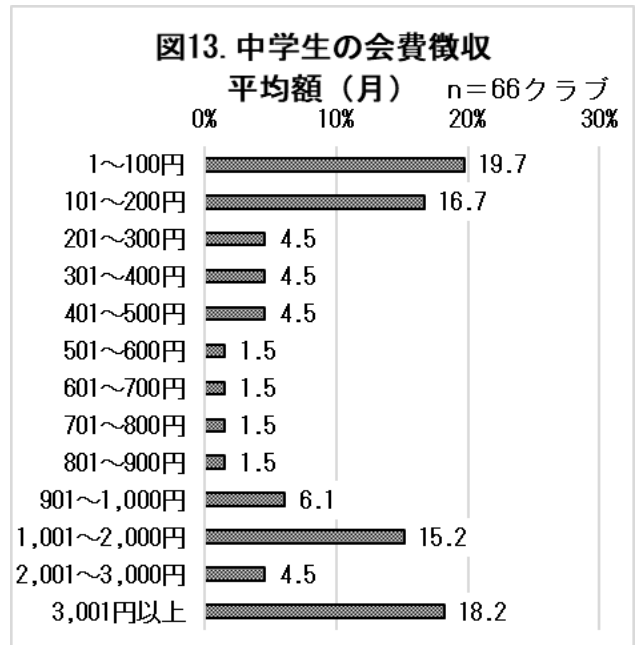
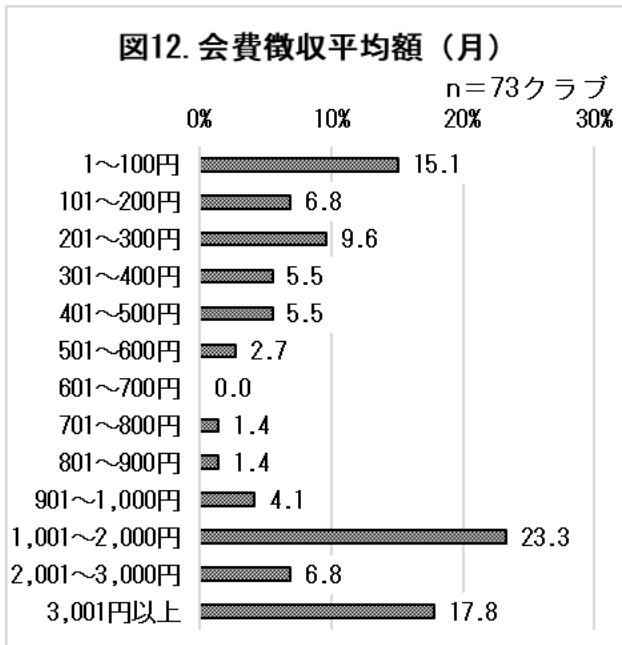
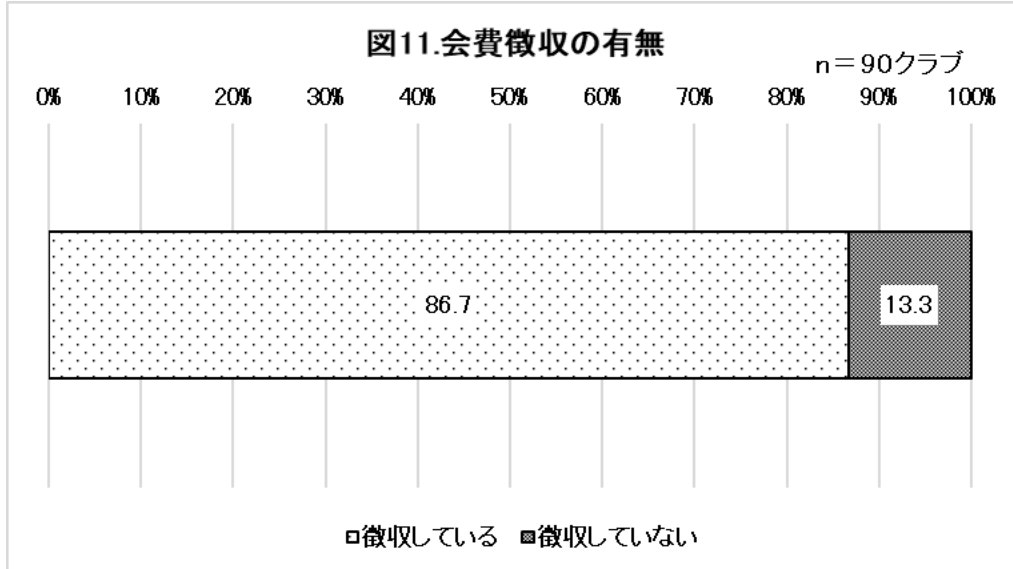
また、障害者会員数の内訳は、「19~29歳」の会員が全体の33.0%（R4は18.8%）であり、続いて「30~39歳」の会員が19.6%（R4は11.5%）等となっていた（図10）。



(2) クラブ会費

クラブの会費については、「徴収している」が 86.7%・78 クラブ (R4 は 85.9%・85 クラブ) となっていた (図 11)。「徴収している」クラブにおける 1 クラブあたりの会費徴収額の中央値は、約 1,000 円/月 (R4 は約 1,000 円/月) であった。また、徴収額別にみると、「1,001 円～2,000 円/月」が 23.3% (R4 は 19.0%) と最も多く、続いて「3,001 円以上/月」が 17.8% (R4 は 16.5%) 等となっていた (図 12)。

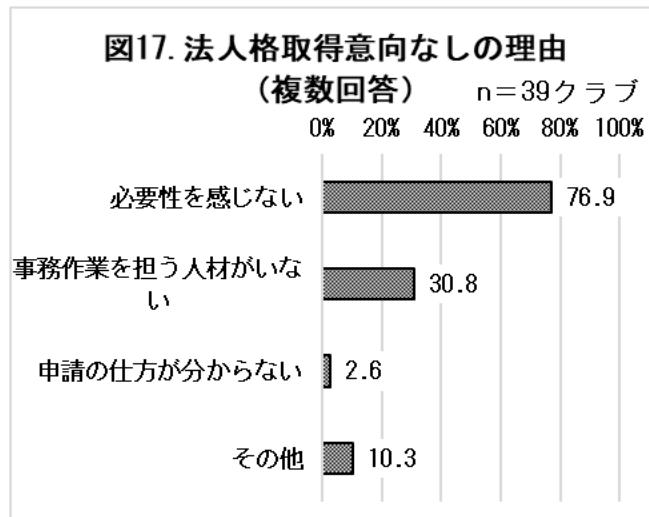
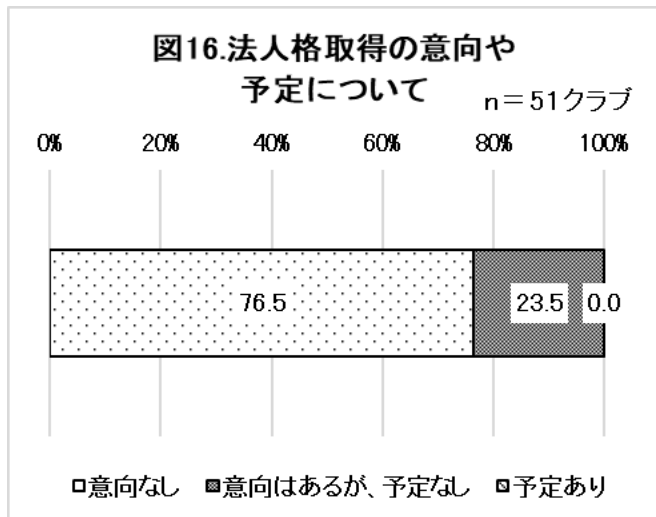
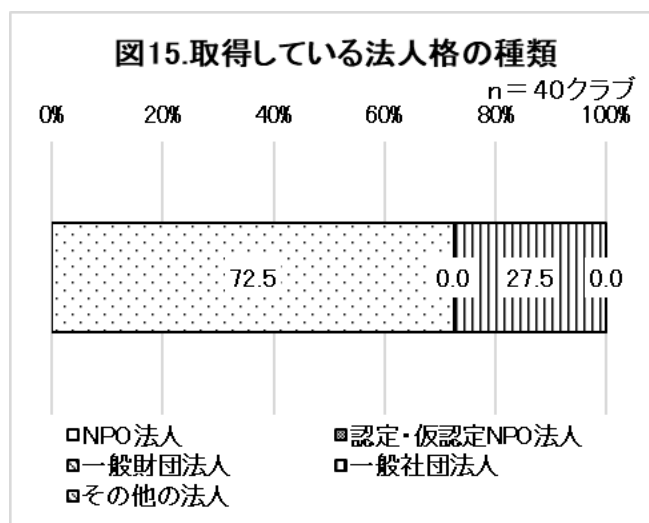
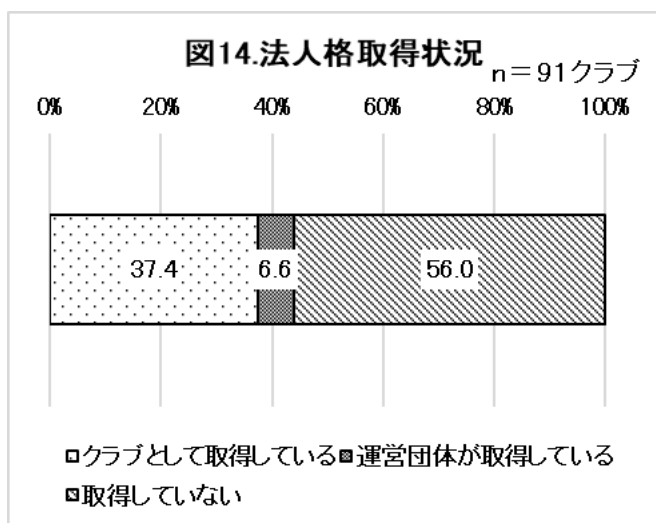
また、中学生からの徴収額をみると、1 クラブあたりの会費徴収額の中央値は、約 513 円/月 (R4 は約 600 円/月) であった。また、徴収額別にみると、「1 円～100 円/月」が 19.7% (R4 は 19.7%) と最も多く、続いて「3,001 円以上/月」が 18.2% (R4 は 18.2%) となっていた (図 13)。



(3) 法人格取得

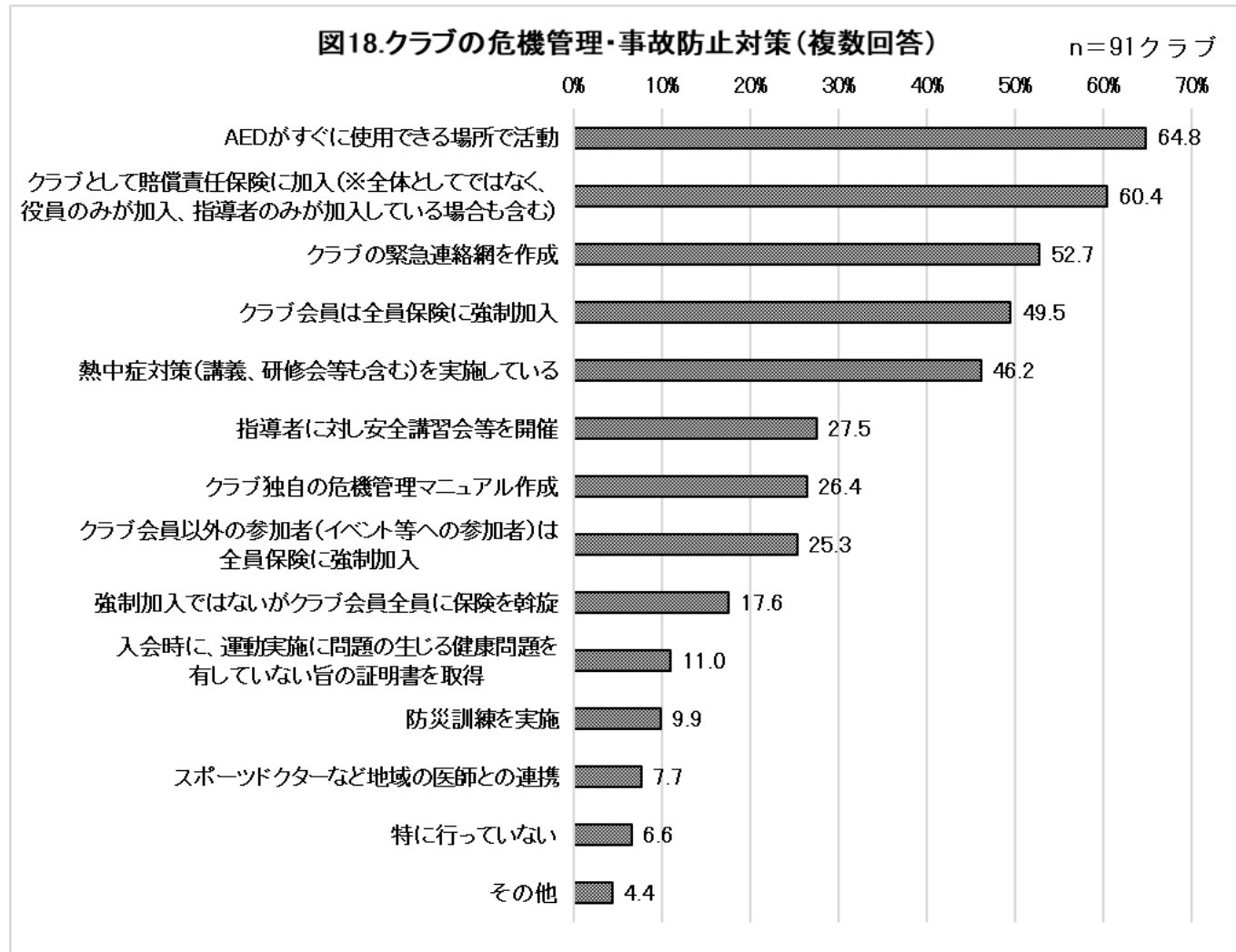
法人格の取得について、「クラブとして取得している」クラブが 37.4% (R4 は 42.0%)、「運営団体が取得している」クラブが 6.6% (R4 は 4.0%)、「取得していない」クラブが 56.0% (R4 は 54.0%) となった (図 14)。なお、クラブまたは運営団体が取得している法人格の種類は、「NPO 法人」が 72.5% (R4 は 68.2%) と最も多く、続いて「一般社団法人」が 27.5% (R4 は 29.5%) となっていた (図 15)。

法人格を取得していないクラブに対して、法人格取得の意向や予定について尋ねたところ、「意向なし」が 76.5% (R4 は 79.6%) と最も多く、続いて「意向はあるが、予定なし」が 23.5% (R4 は 20.4%)、「予定あり」が 0.0% (R4 は 0.0%) となった (図 16)。また、「意向なし」と回答したクラブにその理由を尋ねたところ、「必要性を感じない」が 76.9% と最も多く、続いて「事務作業を担う人材がない」が 30.8%、「申請の仕方が分からない」が 2.6% であった。「その他」の具体的な理由では、「地域で活動している他団体とのバランス」等が挙げられた。(図 17)。



(4) クラブの事故対策

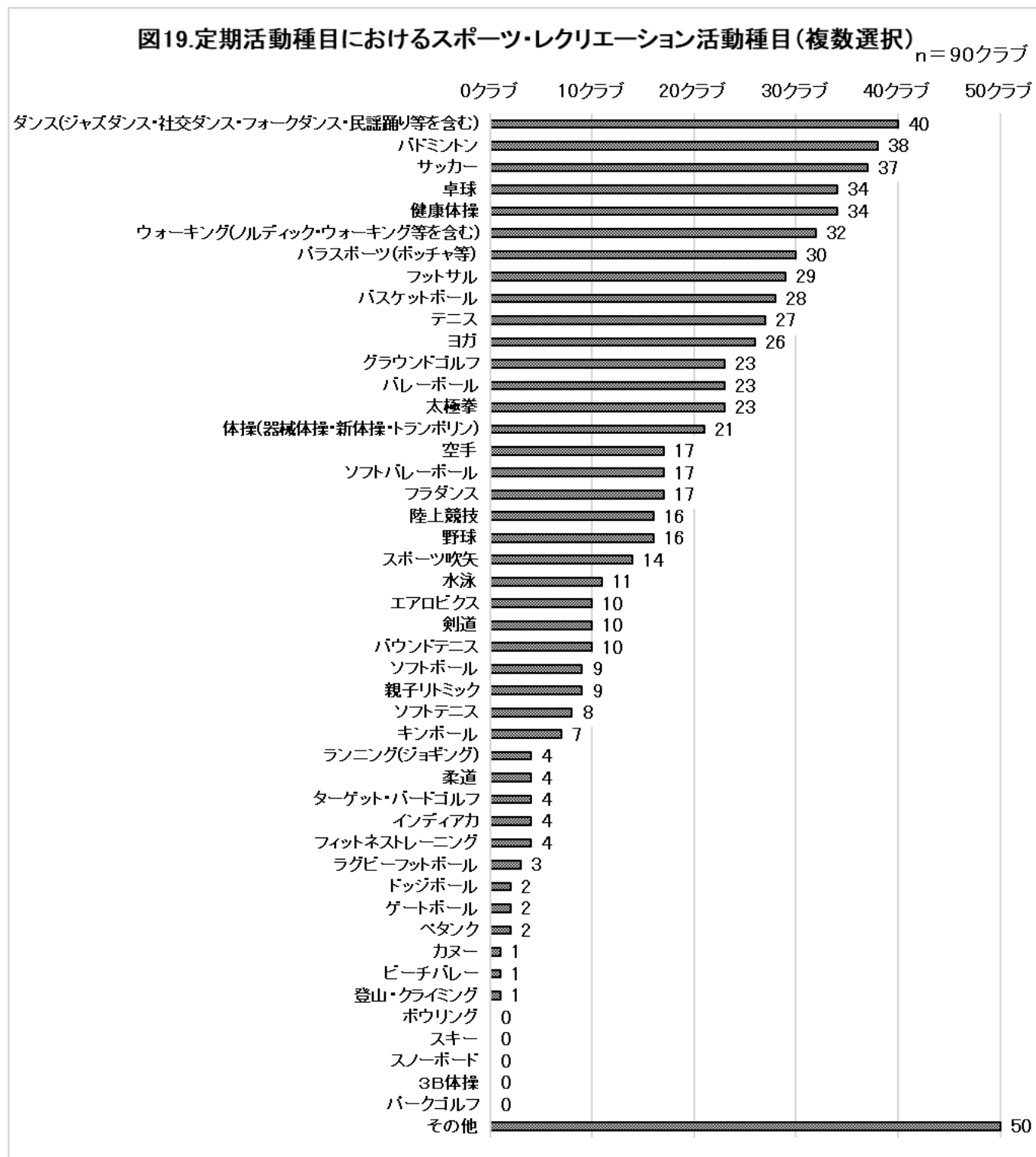
クラブの事故対策は、「AEDがすぐに使用できる場所で活動」が64.8%（R4は66.0%）と最も多く、続いて「クラブとして賠償責任保険に加入」が60.4%（R4は61.0%）となっていた（図18）。「その他」の記述内容としては、「加盟団体及び参加者は保険加入必須としている」や「引き継ぎなしのため不明」等が挙げられた。



(5) クラブの活動内容

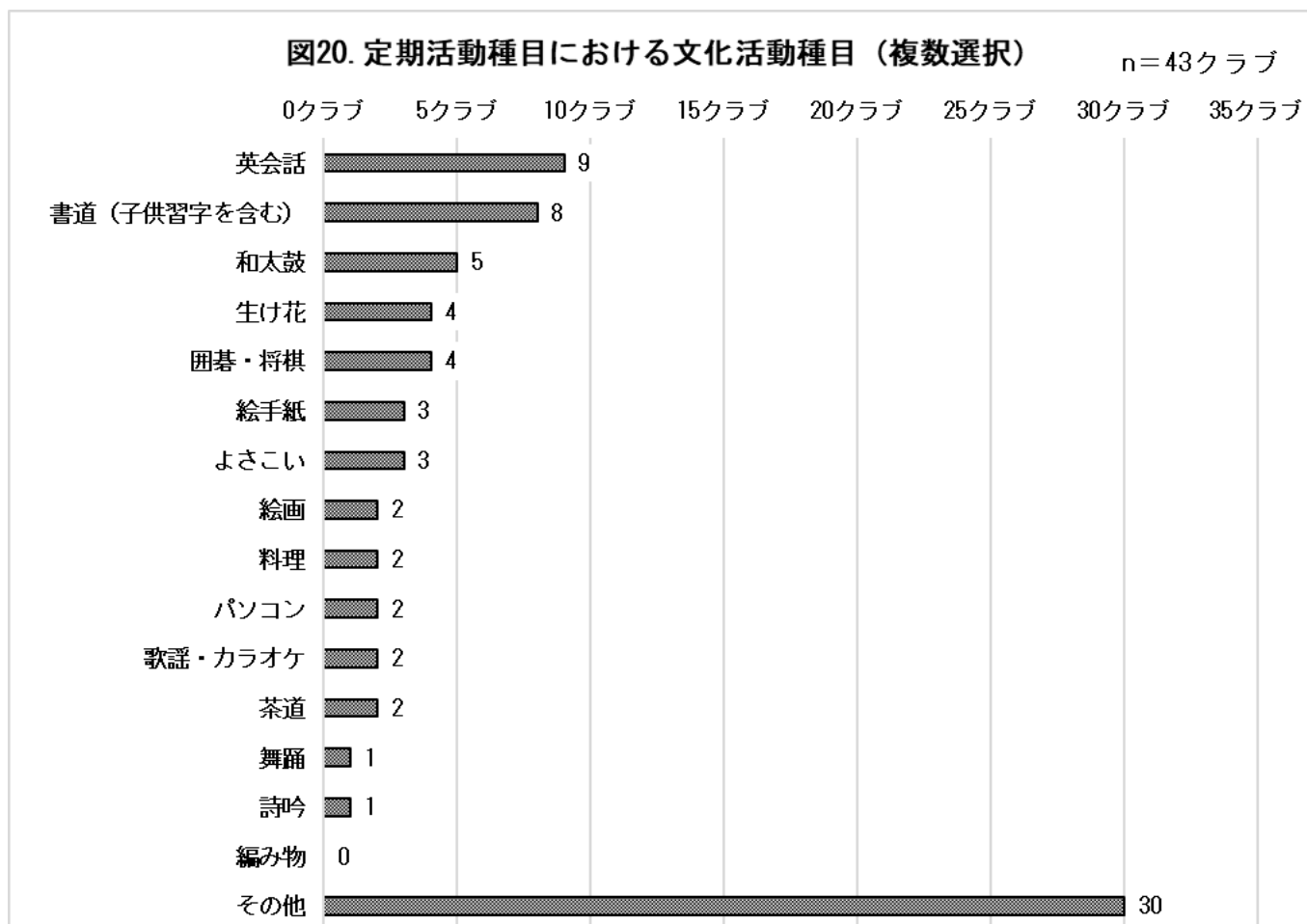
①定期活動種目におけるスポーツ・レクリエーション活動種目

スポーツ・レクリエーション活動種目は、「ダンス」が40クラブ（R4は47クラブ）と最も多く、続いて、「バドミントン」が38クラブ（R4は49クラブ）、「サッカー」が37クラブ（R4は40クラブ）となっていた（図19）。「その他のスポーツ種目」では、「チアリーディング」、「パドルテニス」、「カーレット」等が挙げられた。



②定期活動種目における文化活動種目

文化活動種目は、「英会話」が9クラブ（R4は7クラブ）と最も多く。続いて「書道（子供習字を含む）」が8クラブ（R4は12クラブ）となっていた（図20）。「その他の文化活動種目」では、「健康麻雀」、「コーラス」、「フラワーアレンジメント」等の30種目が挙げられた。

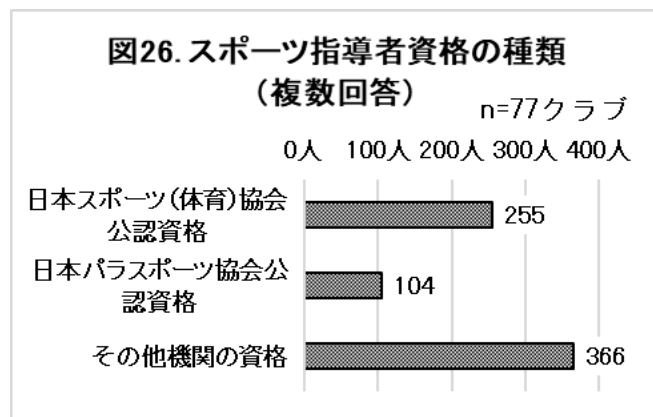
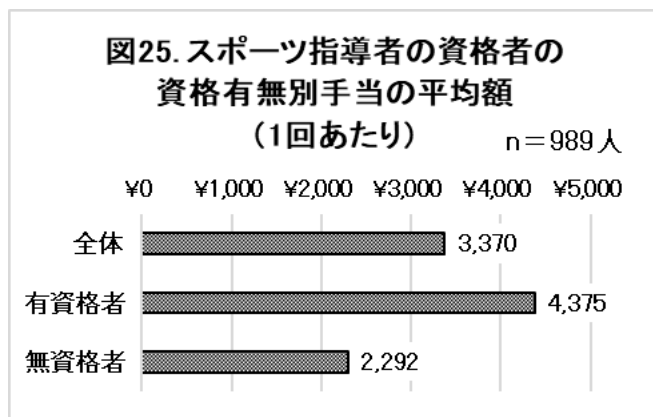
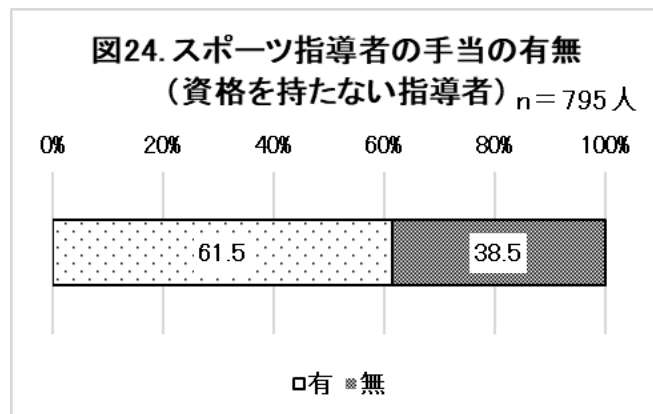
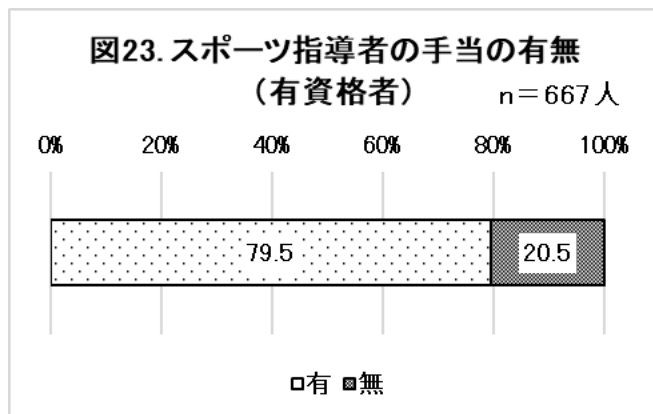
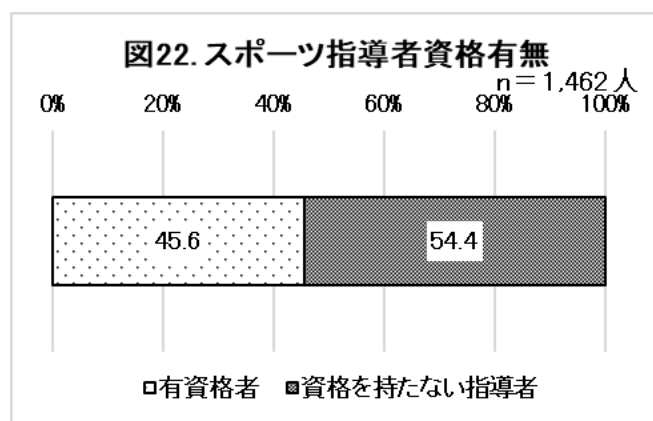
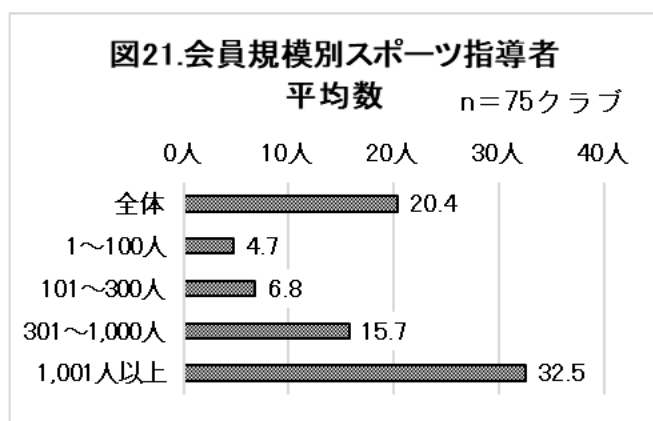


(6) クラブ所属のスポーツ指導者

クラブ所属のスポーツ指導者は、1クラブ平均 20.4 人 (R4 は平均 15.6 人) となっており (図 21)、そのうち「有資格者」は 45.6% (R4 は 48.8%)、「資格を持たない指導者」は 54.4% (R4 は 51.2%) となっていた (図 22)。

また、手当が支給されているスポーツ指導者は、「有資格者」では 79.5% (R4 は 82.1%) (図 23)、「資格を持たない指導者」では 61.5% (R4 は 60.5%) となっていた (図 24)。さらに、1 回あたりの手当の平均額は、「有資格者」では 4,375 円/回 (R4 は 4,675 円/回)、「資格を持たない指導者」では 2,292 円/回 (R4 は 2,046 円/回)、全体平均で 3,370 円/回 (R4 は 3,529 円/回) であった (図 25)。

有資格スポーツ指導者の認定機関は「その他機関の資格」が 366 人 (R4 は 466 人) と最も多く、次いで「日本スポーツ (体育) 協会公認資格」が 255 人 (R4 は 212 人)、「日本パラスポーツ協会公認資格」が 104 人 (R4 は 109 人) であった (図 26)。



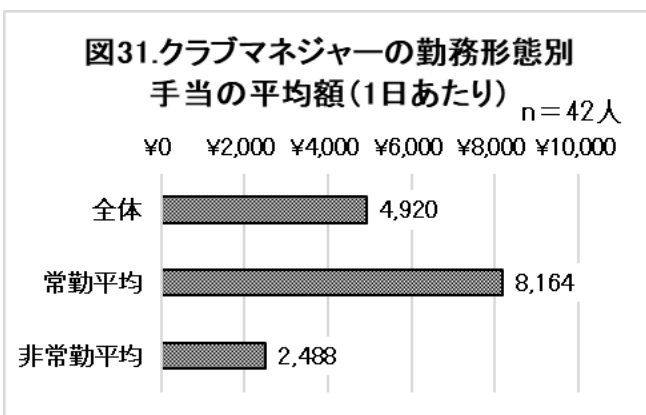
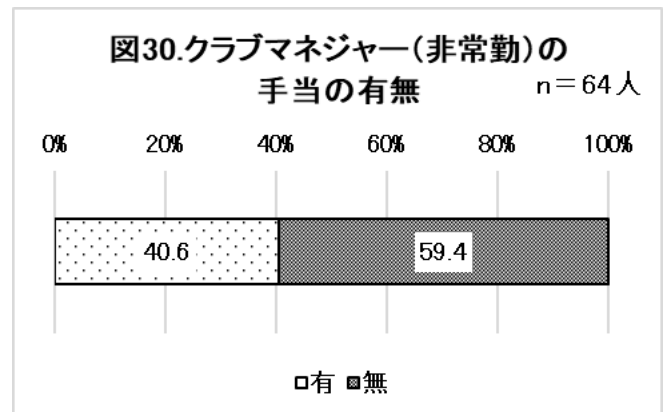
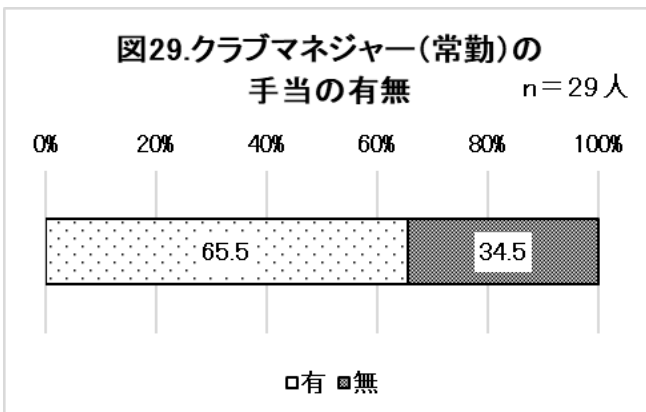
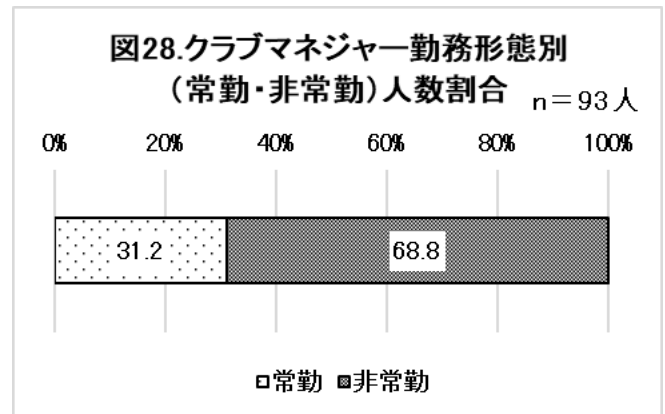
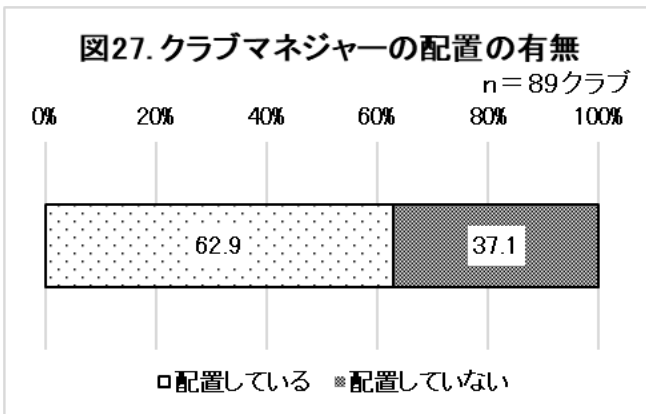
※図 22、23、24、25 は指導者を対象とするものであり、n はその当該数を示す。

(7) クラブの事務局体制

① クラブマネジャー

クラブマネジャーについては、「配置している」が 62.9% (R4 は 60.0%)、「配置していない」が 37.1% (R4 は 40.0%) となっていた (図 27)。また、「配置している」と回答したクラブのクラブマネジャーの勤務形態をみると、「常勤」が 31.2% (R4 は 20.8%)、「非常勤」が 68.8% (R4 は 79.2%) となっており (図 28)、手当が支給されているクラブマネジャーは「常勤」では 65.5% (R4 は 71.4%) (図 29)、「非常勤」では 40.6% (R4 は 33.8%) となっていた (図 30)。

さらに、1日あたりの手当の平均額は「常勤」では 8,164 円/日 (R4 は 8,745 円/日)、「非常勤」では 2,488 円/日 (R4 は 3,571 円/日) で、全体平均で 4,920 円/日 (R4 は 5,419 円/日) となっていた (図 31)。

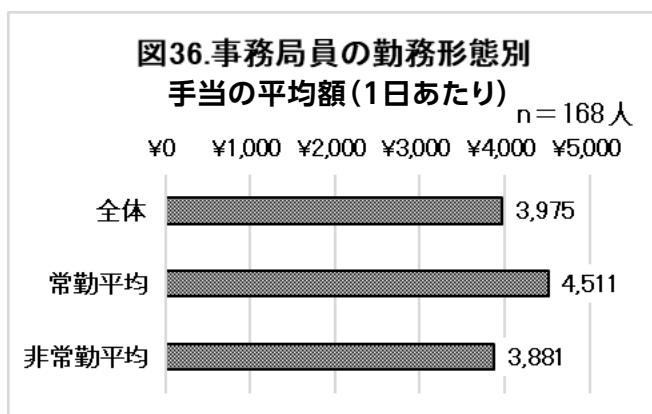
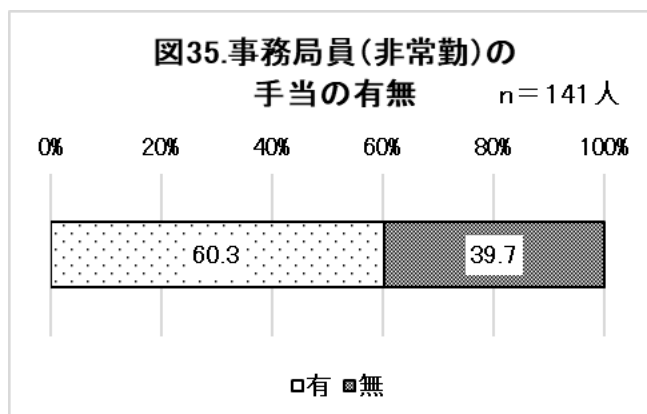
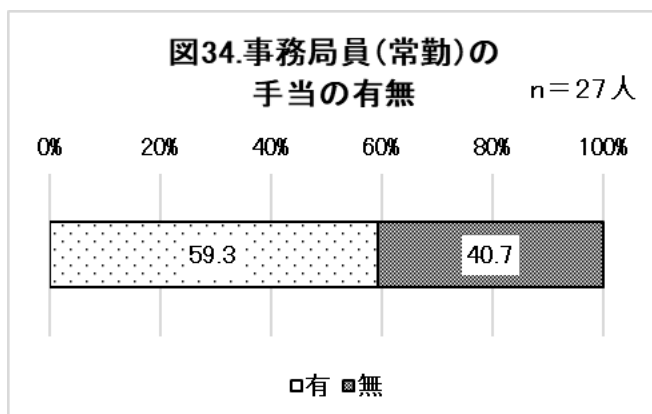
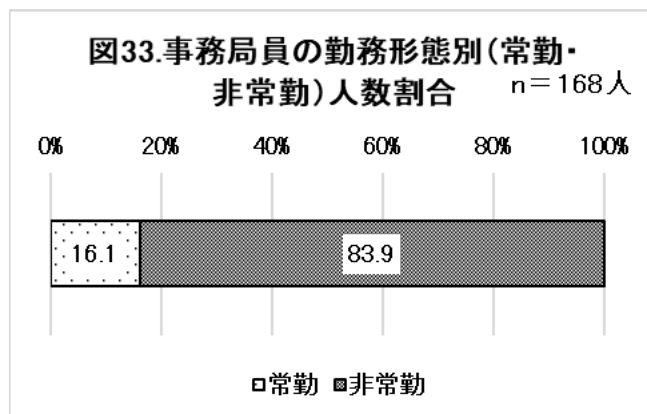
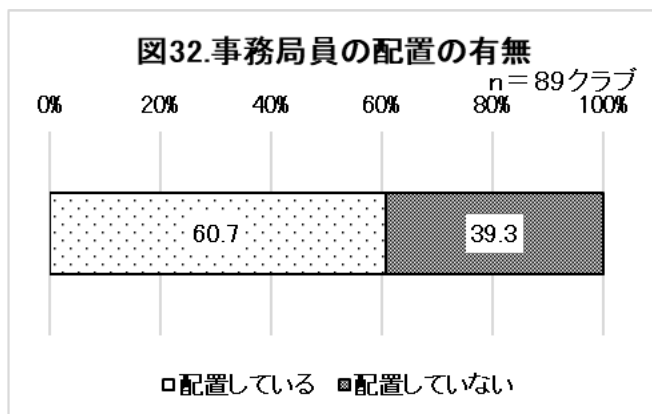


※図 28、29、30、31 はクラブマネジャーを対象とするものであり、n はその当該数を示す。

② 事務局員

事務局員については、「配置している」が 60.7% (R4 は 62.0%)、「配置していない」が 39.3% (R4 は 38.0%) となっていた (図 32)。また、クラブに配置されている事務局員の勤務形態をみると、「常勤」が 16.1% (R4 は 20.8%)、「非常勤」が 83.9% (R4 は 79.2%) となっており (図 33)、手当が支給されている事務局員は、「常勤」では 59.3% (R4 は 71.4%) (図 34)、「非常勤」では 60.3% (R4 は 33.8%) となっていた (図 35)。

さらに、1日あたりの手当の平均額は、「常勤」が 4,511 円/日 (R4 は 4,412 円/日)、「非常勤」が 3,881 円/日 (R4 は 3,791 円/日) で、全体平均では 3,975 円/日 (R4 は 3,936 円/日) となっていた (図 36)。

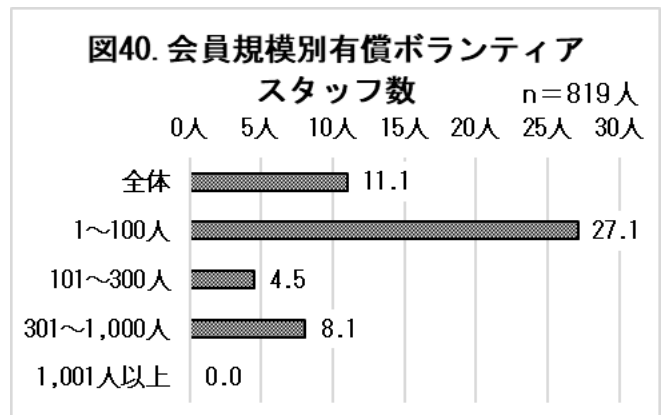
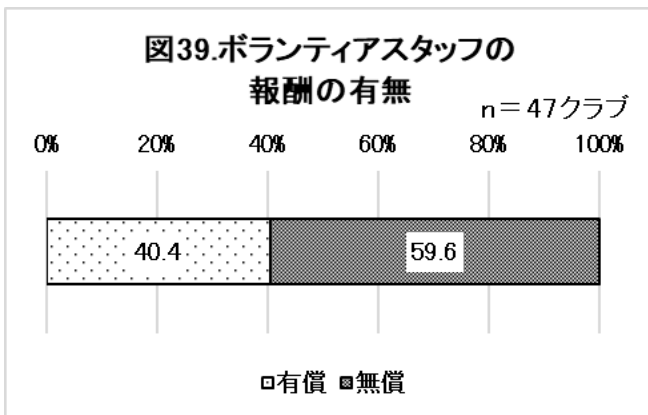
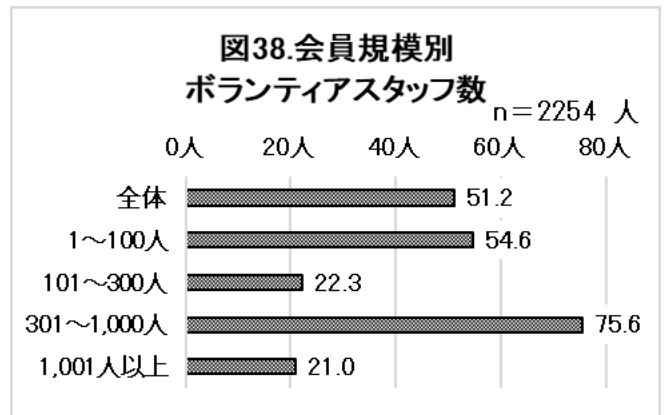
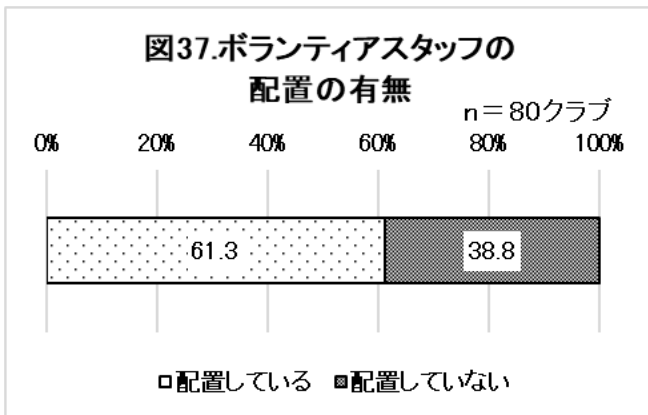


※図 33、34、35、36 は事務局員を対象とするものであり、n はその当該数を示す。

③ クラブ運営ボランティアスタッフ

ボランティアスタッフ（単発イベント等含む）については、「配置している」が 61.3%、「配置していない」が 38.8%となっていた（図 37）。また、クラブにおけるボランティアスタッフの延べ人数について 1 クラブ平均 51.2 人（R4 は 79.2 人）が活動していた。クラブの規模別にボランティアスタッフ数をみると、「1～100 人」の会員を有するクラブは平均 54.6 人（R4 は 55.1 人）、「101～300 人」のクラブでは平均 22.3 人（R4 は 44.4 人）、「301～1,000 人」のクラブでは平均 75.6 人（R4 は 140.7 人）、「1,001 人以上」のクラブでは平均 21.0 人（R4 は 54.8 人）のボランティアスタッフが活動を支えていた（図 38）。

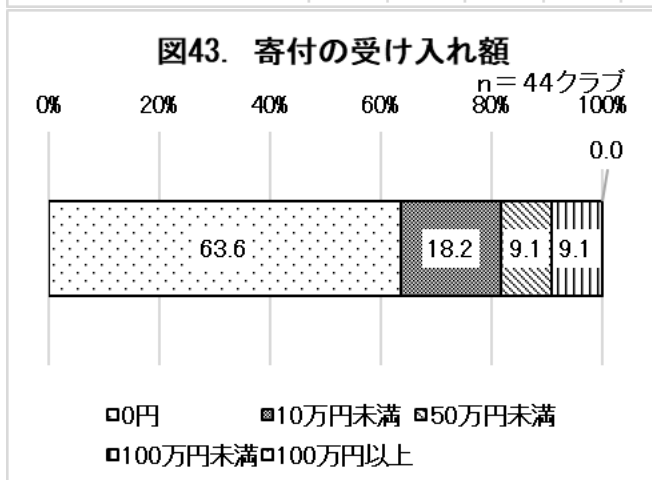
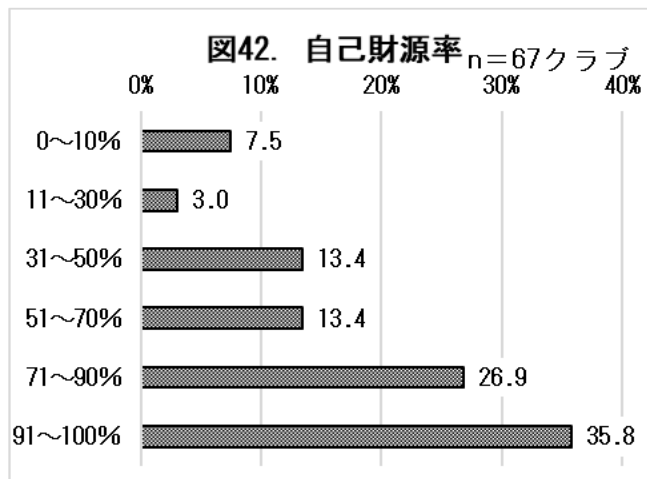
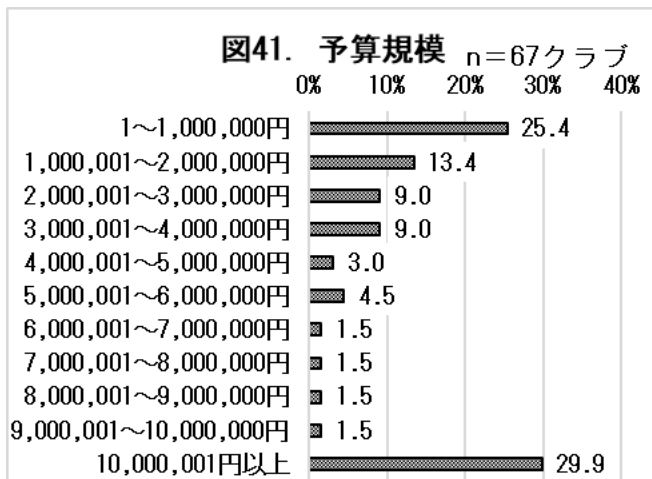
加えて、クラブにおけるボランティアスタッフへの報酬については、「有償」が 40.4%、「無償」が 59.6%となっていた（図 39）。クラブにおける有償ボランティアスタッフの延べ人数については 1 クラブ平均 11.1 人が活動していた。クラブの規模別に有償ボランティアスタッフ数をみると、「1～100 人」の会員を有するクラブは平均 27.1 人、「101～300 人」のクラブでは平均 4.5 人、「301～1,000 人」のクラブでは平均 8.1 人、「1,001 人以上」のクラブでは平均 0.0 人となった（図 40）。



(8) クラブの活動費

クラブの年間予算は、「10,000,001円以上」が29.9%（R4は30.1%）と最も多く、続いて「1～1,000,000円」が25.4%（R4は28.8%）となっていた（図41）。また、自己財源率（「会費・事業費・委託費」を足した自己財源が全体収入に占める割合）をみると、「91～100%」のクラブが35.8%（R4は40.0%）と最も多く、続いて、「71～90%」のクラブが26.9%（R4は24.3%）となっていた。全体の76.1%（R4は80.0%）のクラブにおいて、自己財源率が「51%以上」となっていた（図42）。

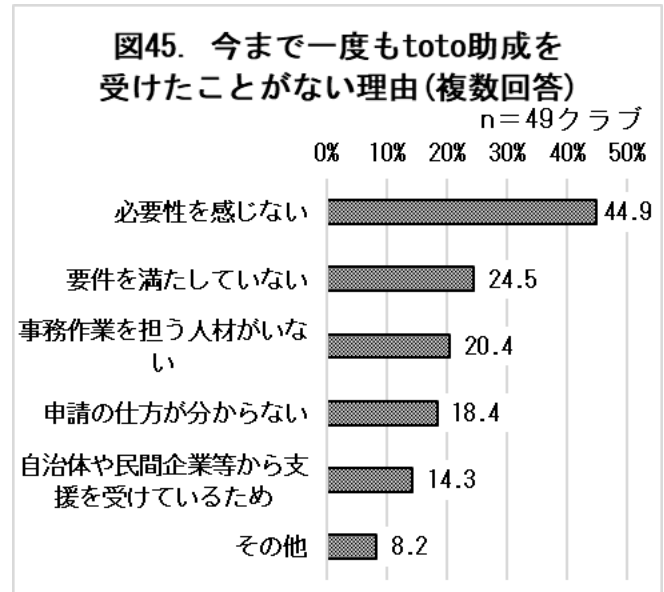
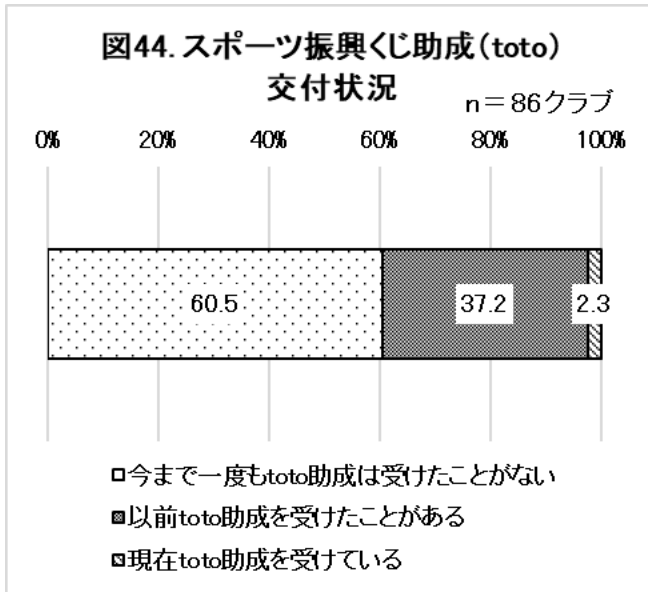
クラブの寄付受け入れについてみると、「0円」のクラブが63.6%と最も多く、次いで「10万円未満」のクラブが18.2%であった（図43）。加えて、寄付を受け入れているクラブにおいては、個人から平均8.8件、法人から平均12.0件の寄付を受け入れていた。



(9) スポーツ振興くじ助成

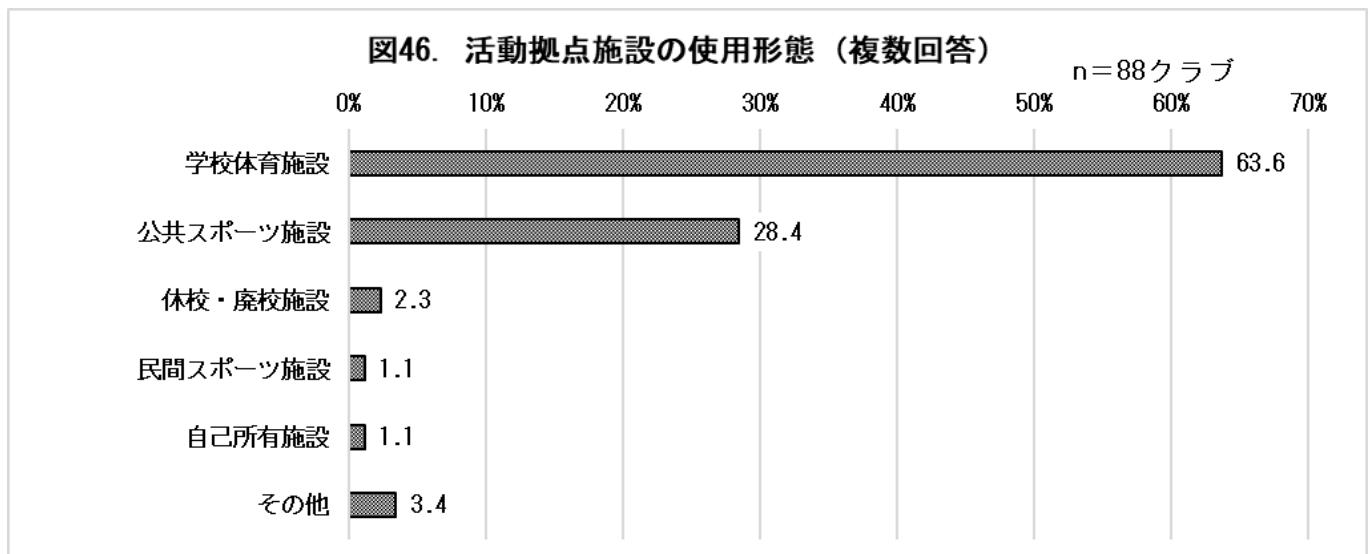
スポーツ振興くじ助成（toto 助成）の交付を受けているかについては、「今まで一度も受けたことがない」が 60.5%（R4 は 63.9%）と最も多く、続いて「以前受けたことがある」が 37.2%（R4 は 33.0%）、「現在受けている」が 2.3%（R4 は 3.1%）となっていた（図 44）。

また、スポーツ振興くじ助成（toto 助成）の交付を「今まで一度も受けたことがない」クラブにその理由を聞いたところ、「必要性を感じない」が 44.9%と最も多く、続いて「要件を満たしていない」が 24.5%、「事務作業を担う人材がない」が 20.4%であった。「その他」の具体的な理由では、「toto 助成についてわからない」、「会費で運営できているため」等が挙げられた。（図 45）。



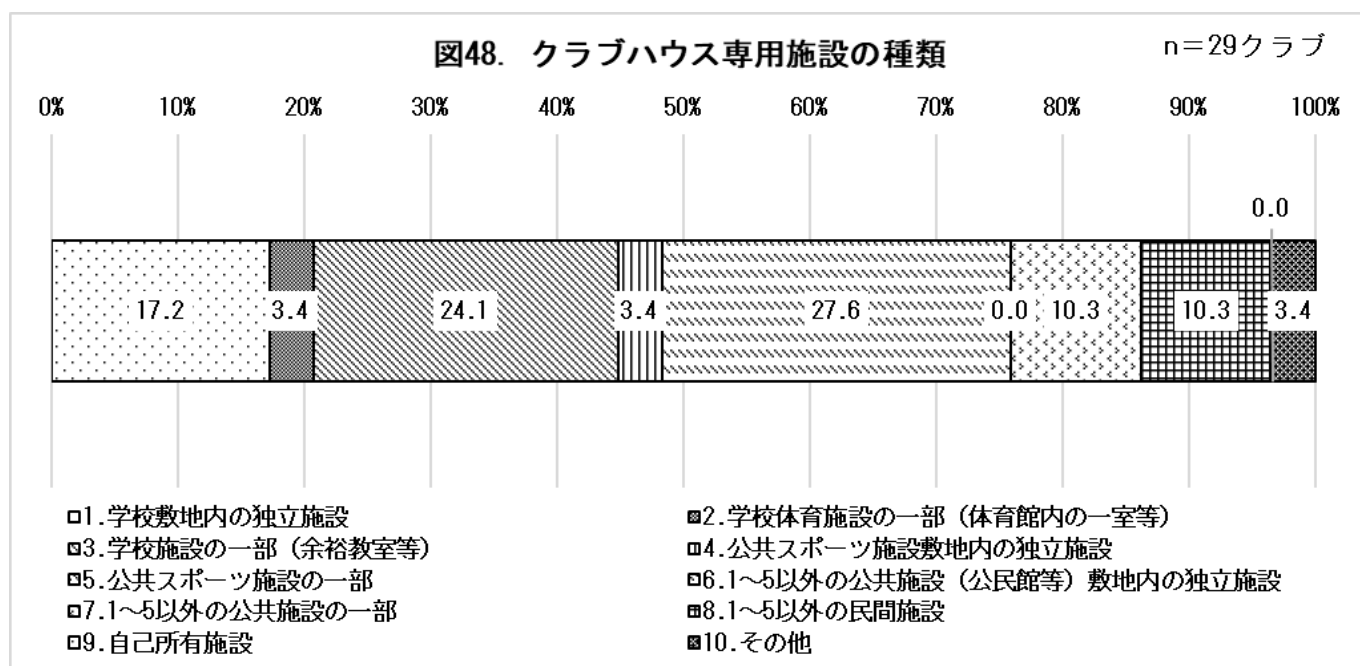
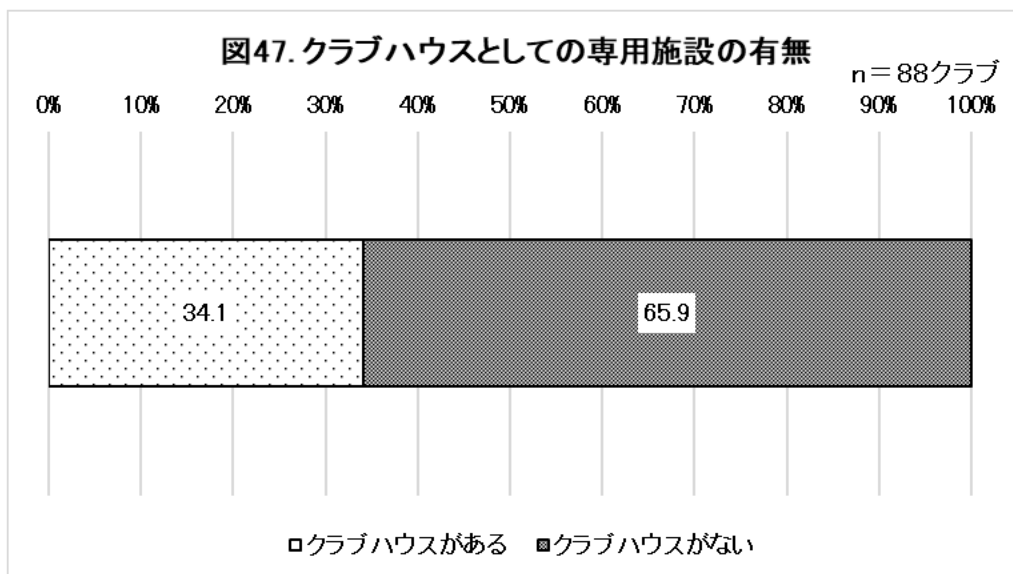
(10) クラブの活動拠点施設

主たる活動拠点施設の種類の、「学校体育施設」が 63.6%（R4 は 55.6%）、続いて「公共スポーツ施設」が 28.4%（R4 は 32.3%）、「休校・廃校施設」が 2.3%（R4 は 3.0%）、「民間スポーツ施設」が 1.1%（R4 は 6.1%）、等となっていた（図 46）。



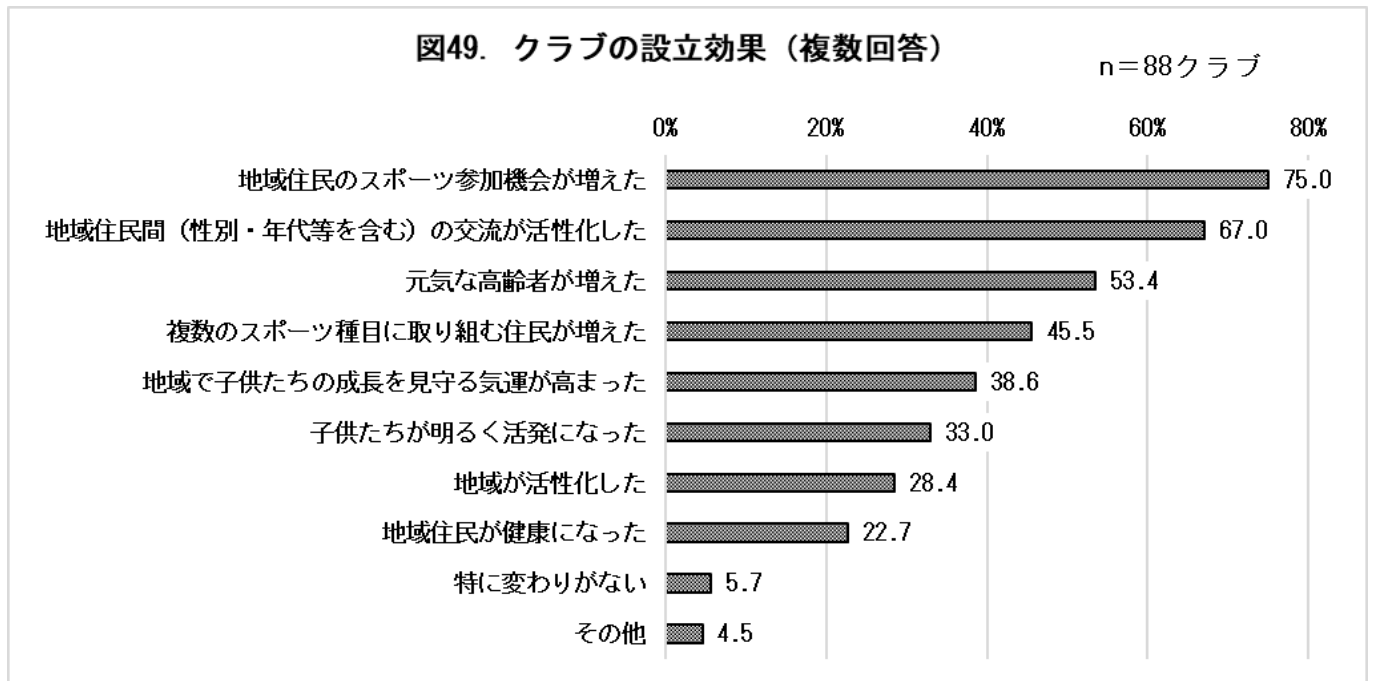
(11) クラブハウス

クラブハウスについては、「クラブハウスがある」が 34.1% (R4 は 37.4%)、「クラブハウスがない」が 65.9% (R4 は 62.6%) となっていた (図 47)。また、クラブハウスの種類は、「公共スポーツ施設の一部」が 27.6% (R4 は 35.1%) で最も多く、続いて「3.学校施設の一部 (余裕教室等)」が 24.1% (R4 は 16.2%) 等となっていた (図 48)。



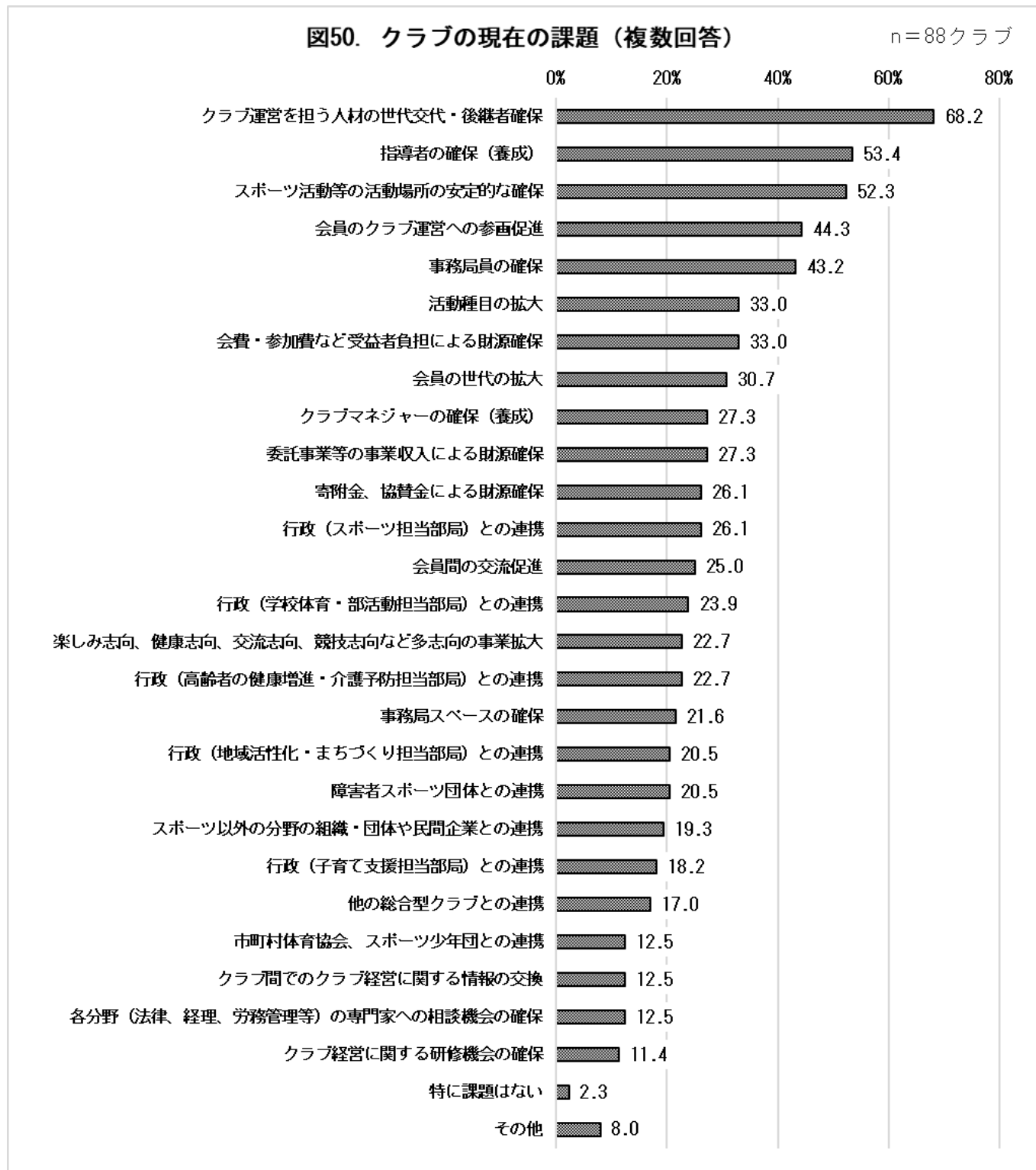
(12) クラブ設立の効果について

クラブ設立による効果は、「地域住民のスポーツ参加機会が増えた」が 75.0% (R4 は 70.7%) と最も多く、続いて、「地域住民間の交流が活性化した」が 67.0% (R4 は 72.7%)、「元気な高齢者が増えた」が 53.4% (R4 は 53.5%) となっていた (図 49)。「その他」の具体的な内容としては、「地域のスポーツに関する相談窓口になった」、「定量的なデータなし」等が挙げられた。



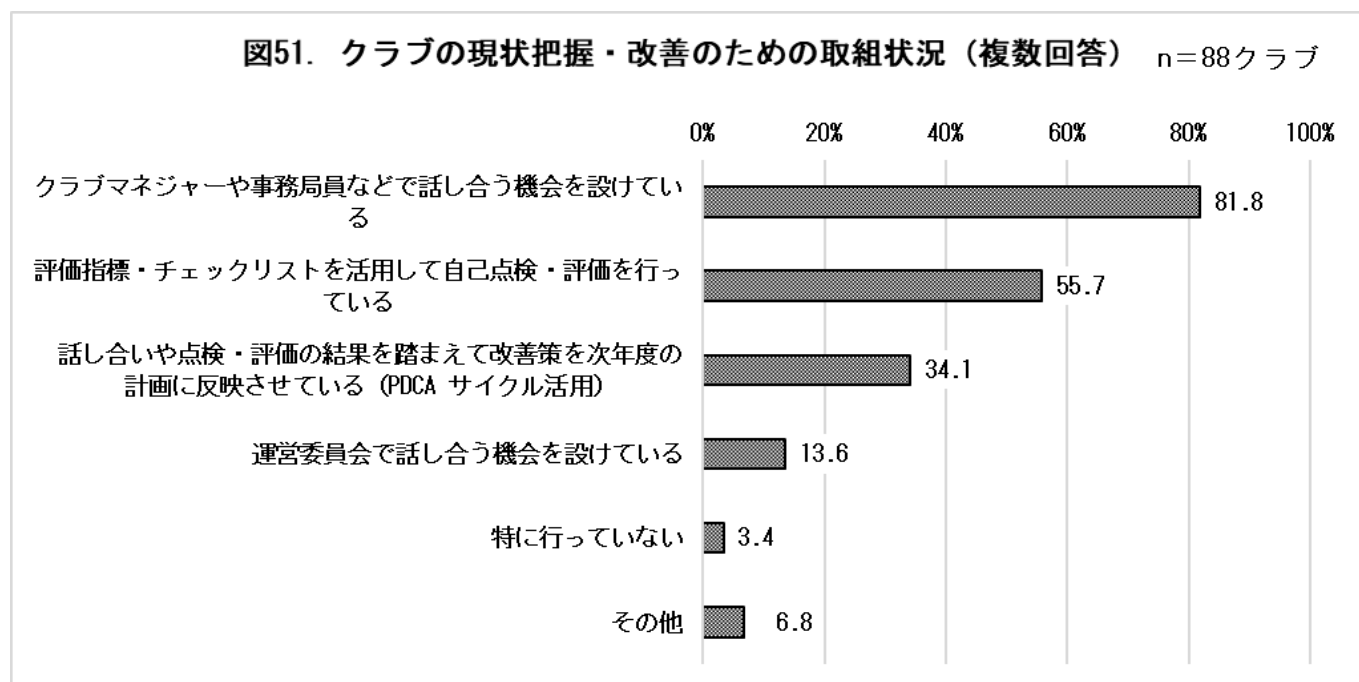
(13) クラブの現在の課題

クラブの現在の課題は、「クラブ運営を担う人材の世代交代・後継者確保」が 68.2% (R4 は 68.7%) と最も多く、続いて、「指導者の確保 (養成)」が 53.4% (R4 は 52.5%)、「スポーツ活動場所の安定的な確保」が 52.3% (R4 は 54.5%) となっていた。また、「特に課題はない」クラブが 2.3% (R4 は 1.0%) であった (図 50)。「その他」の具体的な内容としては、「セキュリティ等 ICT 技術支援」、「住民の理解」等が挙げられた。



(14) 現状把握・改善のための取組状況

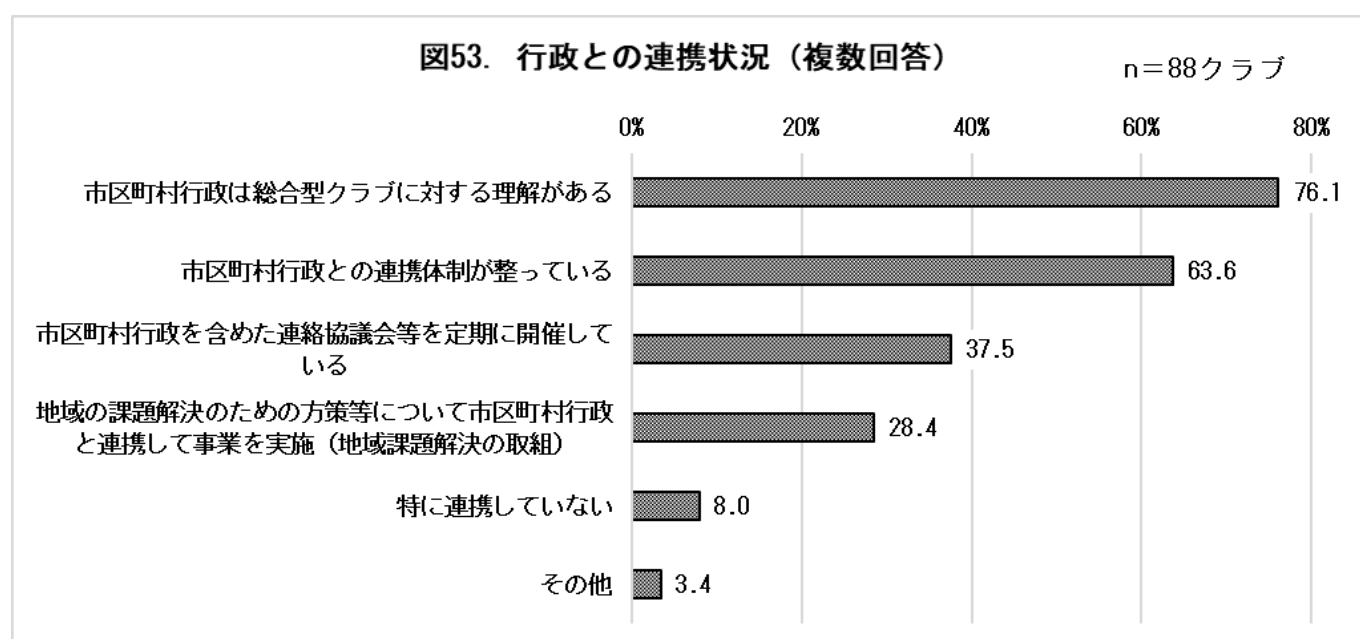
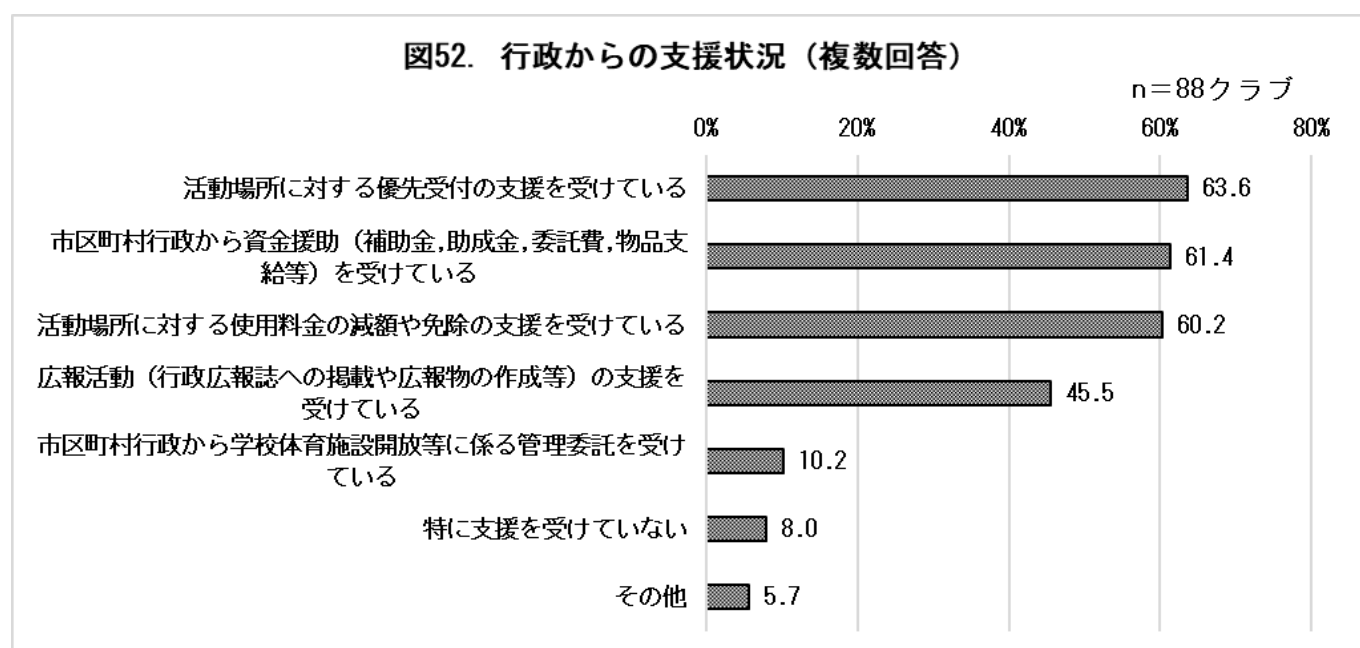
クラブの現状の把握、改善のための取組として最も行われているのは、「クラブマネージャーや事務局員などで話し合う機会を設けている」が81.8%（R4は46.5%）であり、続いて「評価指標・チェックリストを活用して自己点検・評価を行っている」が55.7%（R4は11.1%）、「話し合いや点検・評価の結果を踏まえて改善策を次年度の計画に反映させている」が34.1%（R4は49.5%）であった。また、「運営委員会で話し合う機会を設けている」が13.6%（R4は69.7%）で、取組を「特に行っていない」クラブは3.4%（R4は11.1%）であった（図51）。



(15) 行政からの支援・行政との連携状況について

行政からの支援状況について、全体の63.6%と最も多くのクラブに選択された回答は、「活動場所に対する優先受付の支援を受けている」(R4は66.7%)であった。次いで、「市区町村行政から資金援助(補助金,助成金,委託費,物品支給等)を受けている」が61.4%(R4は58.6%)、「活動場所に対する使用料金の減額や免除の支援を受けている」が60.2%(R4は73.7%)であった(図52)。「その他」の具体的な内容としては、「クラブハウス(事務局の場所)の提供を受けている」等が挙げられた。

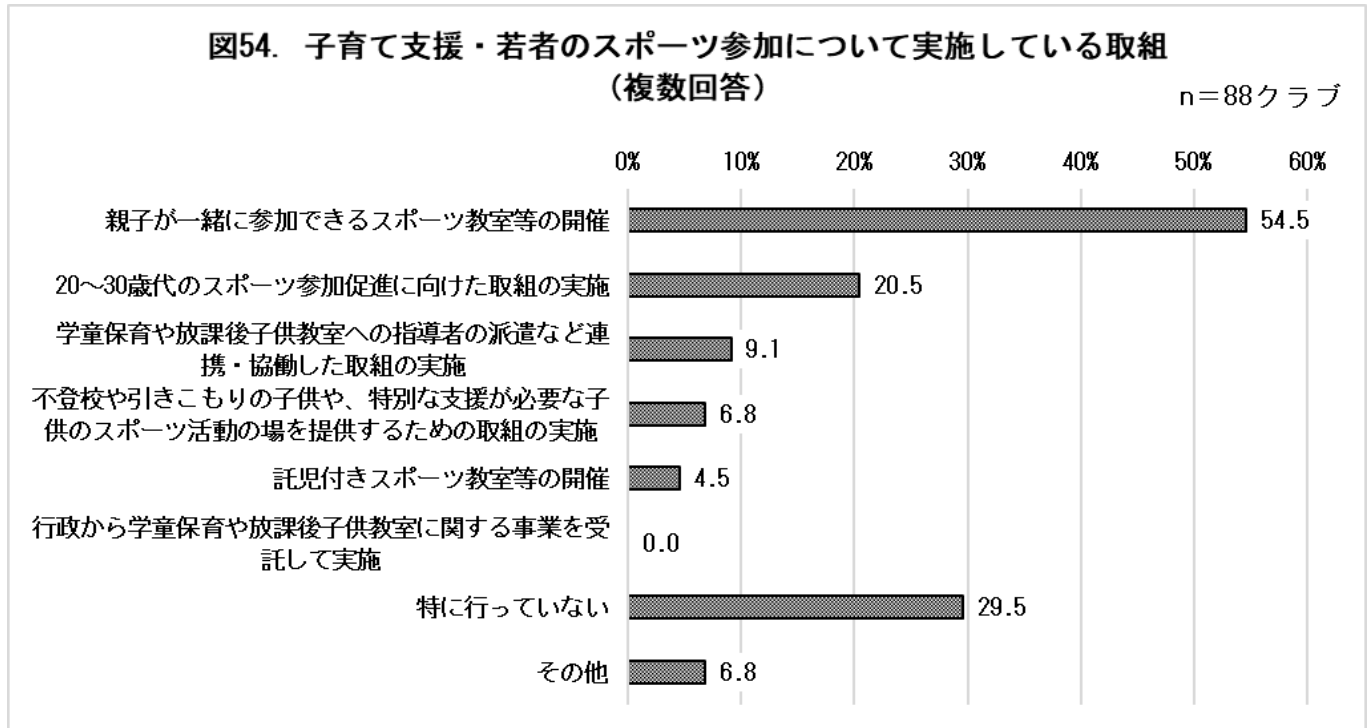
また、行政との連携状況について、「市区町村行政は総合型クラブに対する理解がある」と回答したクラブが全体の76.1%と最も多く、次いで「市区町村行政との連携体制が整っている」が63.6%、「市区町村行政を含めた連絡協議会等を定期的に開催している」が37.5%であった(図53)。「その他」の具体的な内容としては、「スポーツ関連以外の部署は地スポの理解が希薄」等が挙げられた。



(16) クラブの特色ある取組について

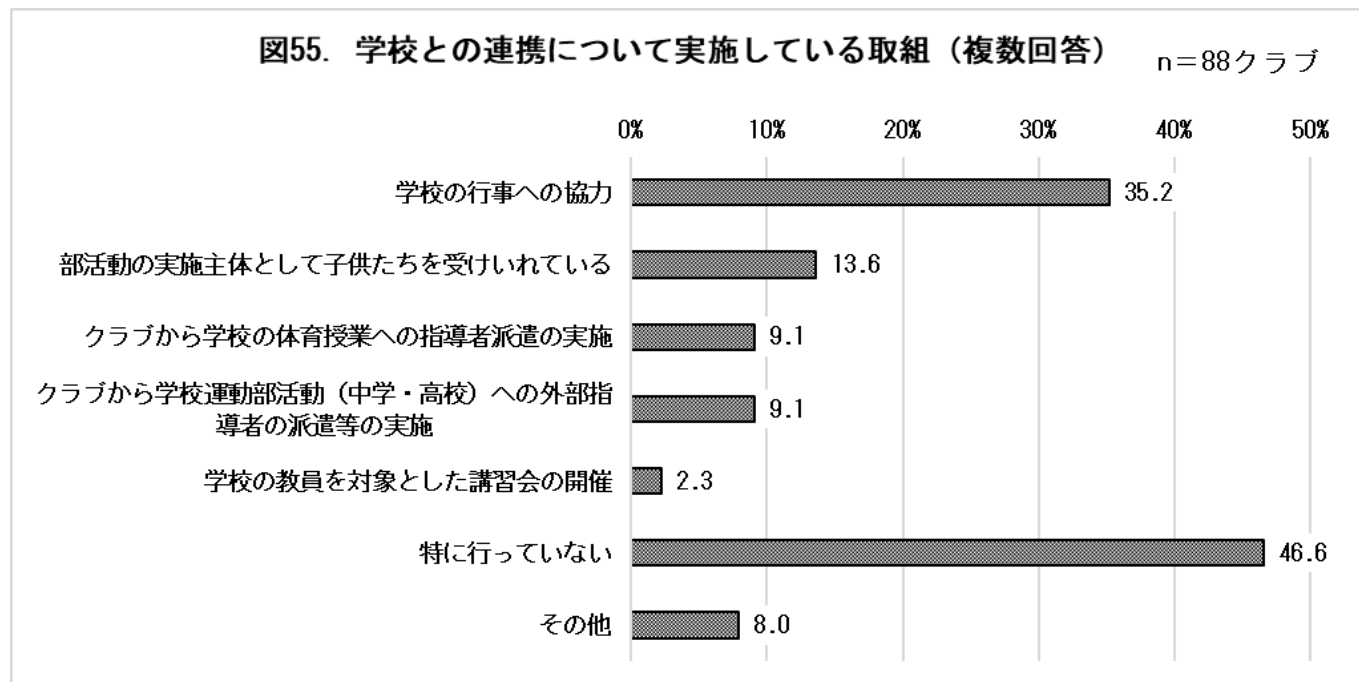
①子育て支援・若者のスポーツ参加

子育て支援・若者のスポーツ参加に関する取組について、「親子が一緒に参加できるスポーツ教室等の開催」が54.5%（R4は52.5%）と最も多く、続いて「特に行っていない」が29.5%（R4は32.3%）、「20～30歳代のスポーツ参加促進に向けた取組の実施」が20.5%（R4は17.2%）であった（図54）。「その他」の具体的な内容としては、「飛込で営業して保育園などに巡回指導を行っている」等が挙げられた。



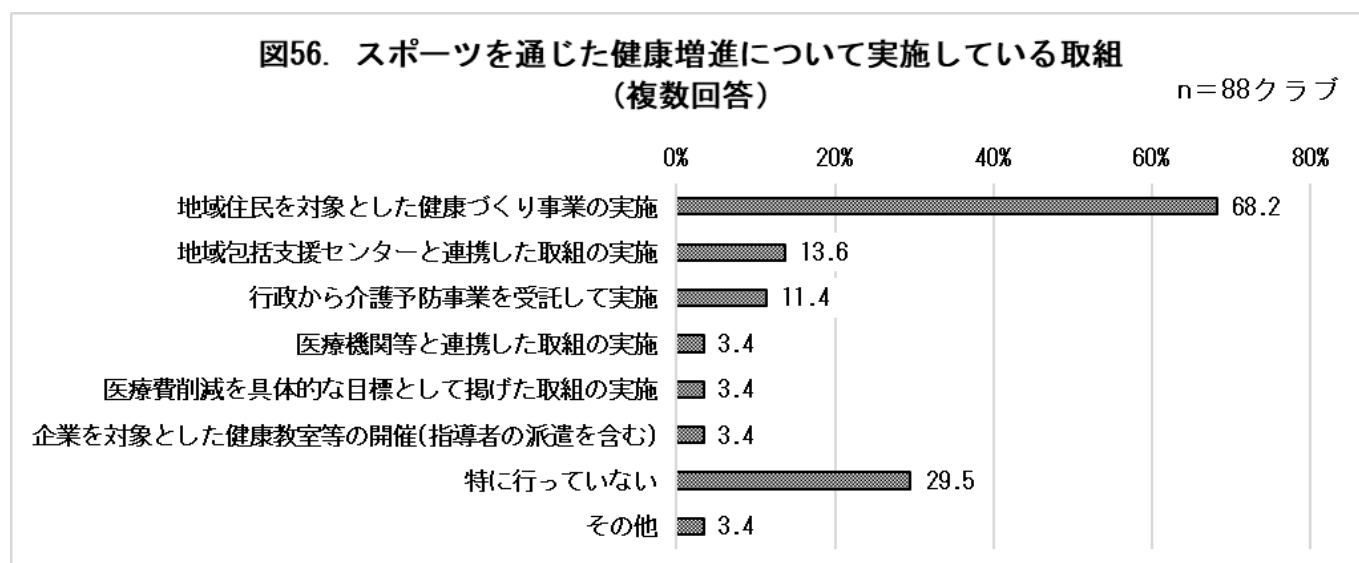
② 学校との連携

学校との連携に関する取組について、「特に行っていない」が46.6%（R4は44.4%）と最も多かった。続いて「学校の行事への協力」が35.2%（R4は29.3%）、「部活動の実施主体として子供たちを受け入れている」が13.6%（R4は10.1%）であった（図55）。「その他」の具体的な内容としては、「学校協議会のイベントとしてサッカー教室の指導」、「学校施設の使用調整」、「道徳授業へのパラアスリートの派遣」等が挙げられた。



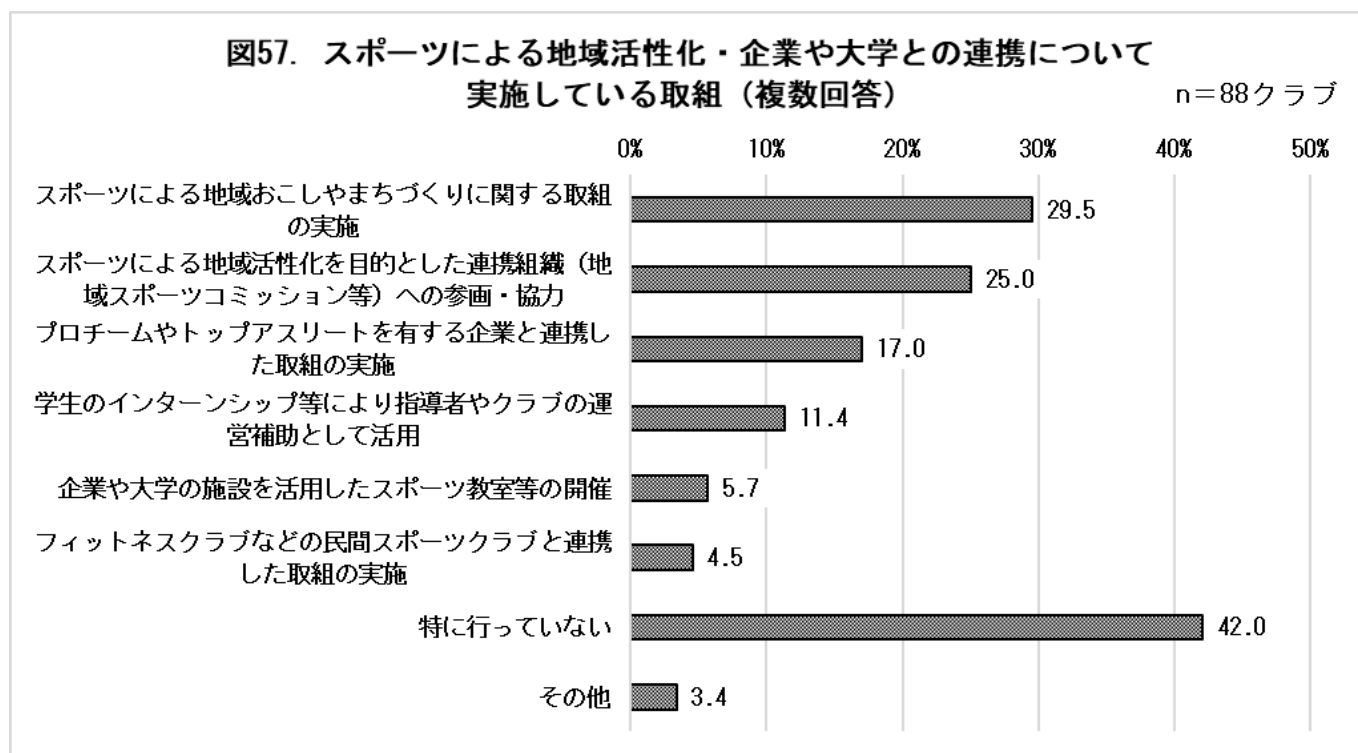
③ スポーツを通じた健康増進

スポーツを通じた健康増進に関する取組について、「地域住民を対象とした健康づくり事業の実施」が68.2%（R4は60.6%）と最も多く、続いて「特に行っていない」が29.5%（R4は30.3%）、「地域包括支援センターと連携した取組の実施」が13.6%（R4は15.2%）であった（図56）。「その他」の具体的な内容としては、「地域の学習センター体育館においてバドミントン交流会を開催」や「障がいのある方への運動の機会の提供（外出の機会も含む）」等が挙げられた。



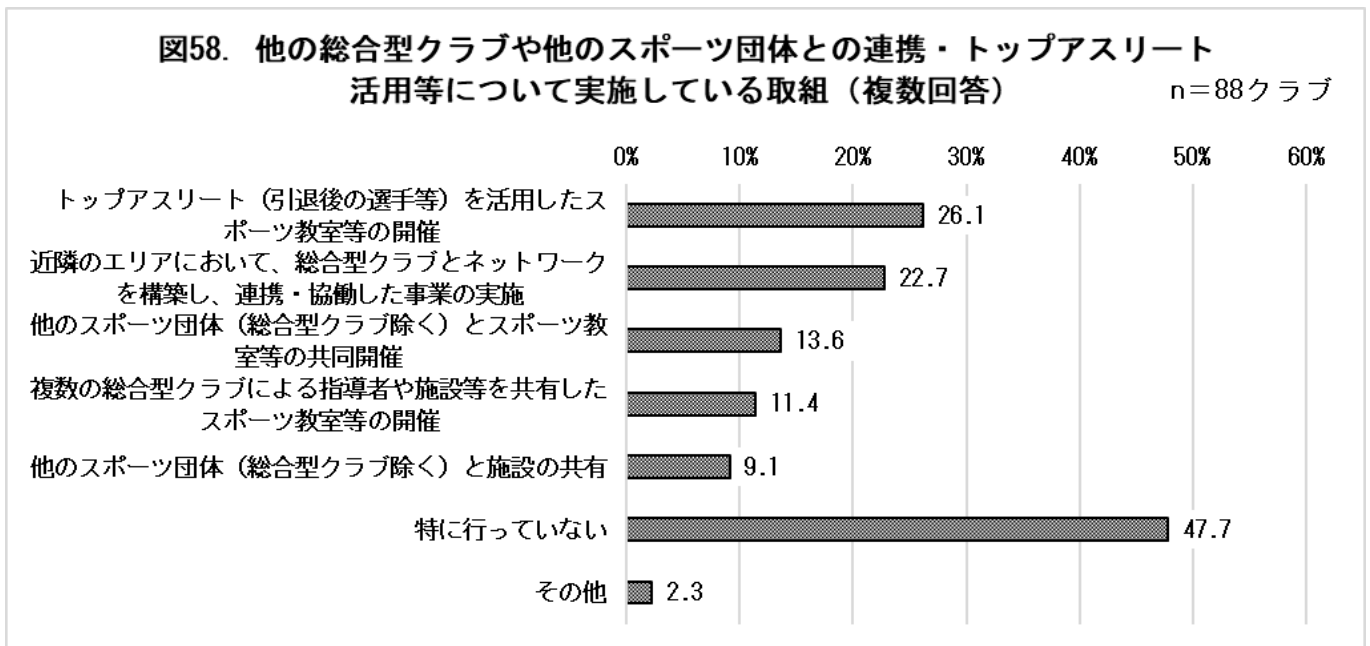
④ スポーツによる地域活性化・企業や大学との連携

スポーツによる地域活性化・企業や大学との連携に関する取組について、「特に行っていない」が42.0%（R4は47.5%）と最も多かった。続いて、「スポーツによる地域おこしやまちづくりに関する取組の実施」が29.5%（R4は28.3%）、「スポーツによる地域活性化を目的とした連携組織（地域スポーツコミッション等）への参画・協力」が25.0%（R4は19.2%）となっていた（図57）。「その他」の具体的な連携内容には、「企業との情報交換、交流、障がい者支援施設への運動の機会提供のためのアウトリーチ」、「体育の日イベントへの協力(体力測定の実施）」、「アンケートなどに回答」等が挙げられた。



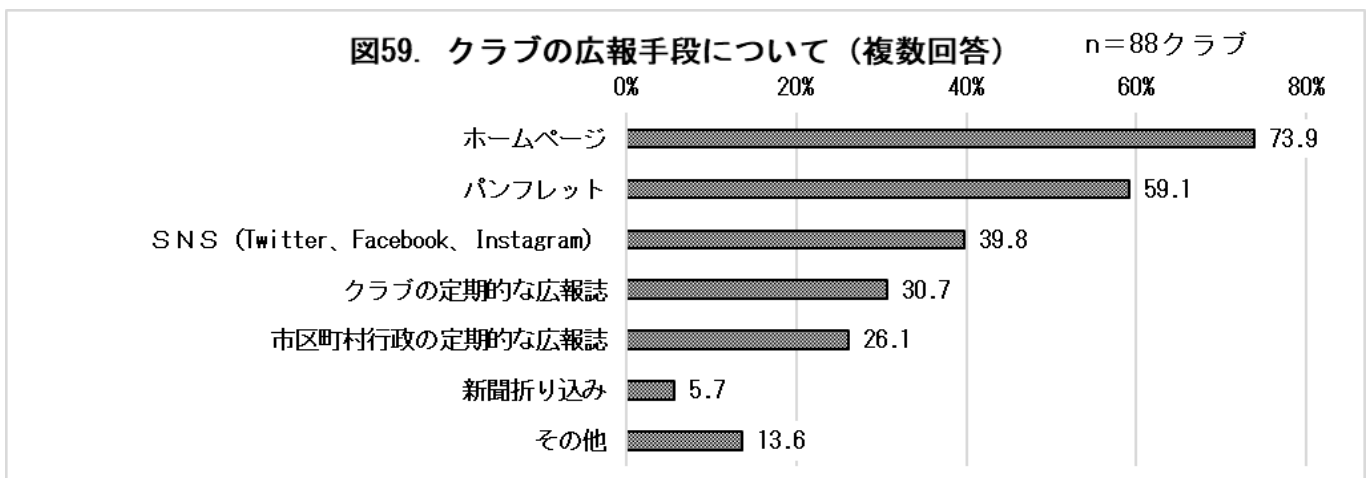
⑤ 他の総合型クラブや他のスポーツ団体との連携・トップアスリートの活用等

他の総合型クラブや他のスポーツ団体との連携・トップアスリートの活用等に関する取組について、「特に行っていない」が47.7%（R4は42.4%）と最も多かった。続いて「トップアスリート（引退後の選手等）を活用したスポーツ教室等の開催」が26.1%（R4は21.2%）、「近隣のエリアにおいて、総合型クラブとネットワークを構築し、連携・協働した事業の実施」が22.7%（R4は25.3%）であった（図58）。「その他」の具体的な内容は、「他の総合型地域スポーツクラブの情報収集」「区内総合型クラブとの連絡会」等が挙げられた。



(17) クラブの広報手段について

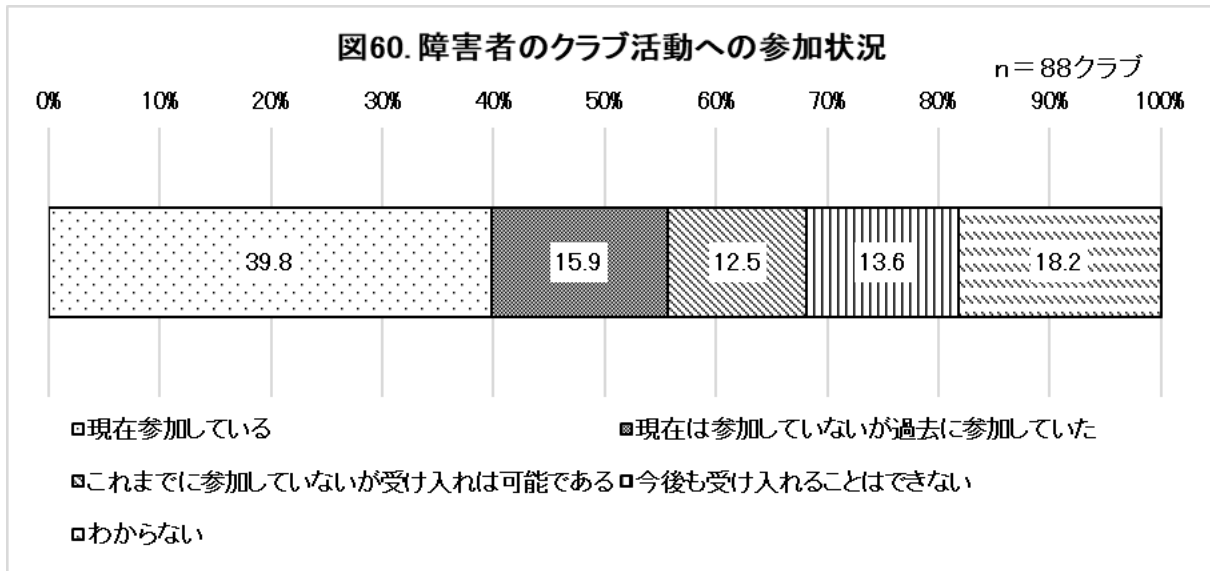
クラブの広報手段について、「ホームページ」が73.9%と最も多かった。続いて「パンフレット」が59.1%、「SNS（Twitter、Facebook、Instagram）」が39.8%であった（図59）。「その他」の具体的な内容は、「回覧版」「掲示板」「クチコミ」「特になし」等が挙げられた。



(18) 障害者へのスポーツ機会の提供について

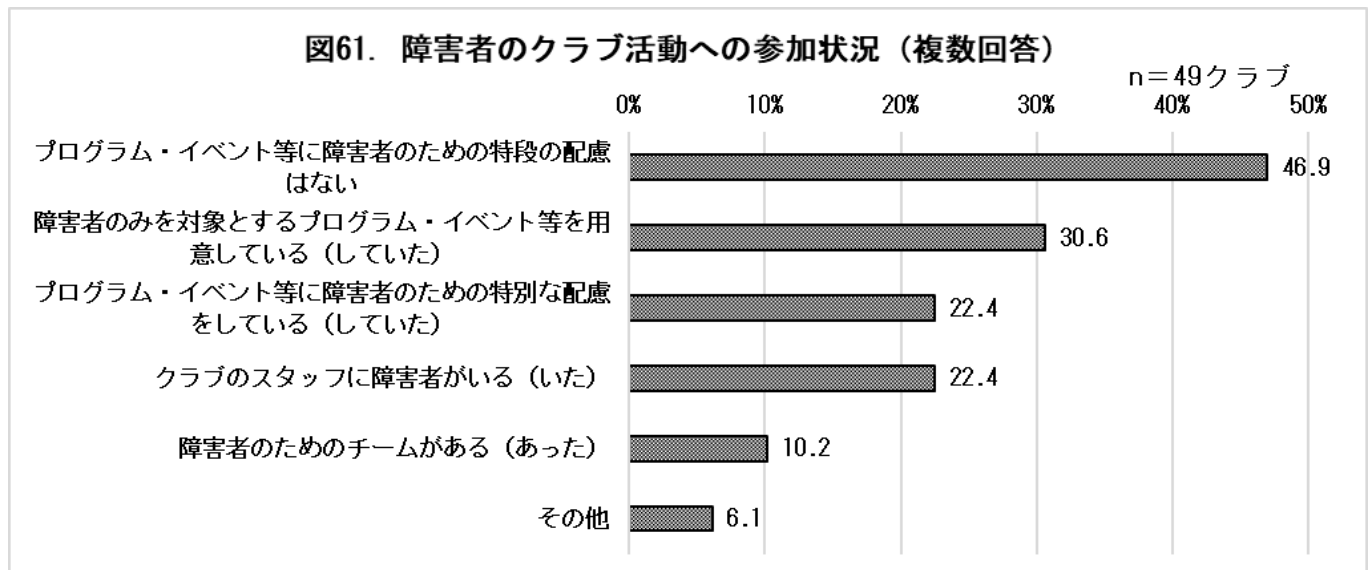
① クラブの活動に対する障害者の参加について（過去も含む）

クラブの活動への障害者の参加について、「現在参加している」が 39.8%（R4 は 36.4%）と最も多く、続いて「わからない」が 18.2%（R4 は 17.2%）、「現在は参加していないが過去に参加していた」が 15.9%（R4 は 19.2%）であった。一方で、「これまでに参加していないが受け入れは可能である」が 12.5%（R4 は 16.2%）、「今後も受け入れることはできない」が 13.6%（R4 は 11.1%）であった（図 60）。



② 障害者のクラブへの参加状況について

また、(18) ①において「現在参加している」および「現在は参加していないが過去に参加していた」と回答していたクラブにおける障害者のクラブへの参加状況は、「プログラム・イベント等に障害者のための特段の配慮はない」が 46.9%（R4 は 23.6%）と最も多かった。続いて「障害者のみを対象とするプログラム・イベント等を用意している（していた）」が 30.6%（R4 は 32.7%）、「プログラム・イベント等に障害者のための特別な配慮をしている（していた）」が 22.4%（R4 は 45.5%）であった（図 61）。



発行 令和6年3月
公益財団法人東京都体育協会
所在地 〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
Japan Sport Olympic Square 10階